



令和7年度 全国体力・運動能力 運動習慣等調査

恵庭市小・中学校における
調査結果(報告)

令和8年3月
恵庭市教育委員会



◆ 目 次 ◆

1. 調査の概要	P 1
2. 用語の解説と説明	P 2
3. 調査結果の掲載方法	P 3
4. 北海道の調査結果について	P 3
5. 実技の結果	P 4
小学校	
中学校	
6. 体格と肥満度に関する調査結果	P 8
小学校	
中学校	
7. 児童生徒質問紙調査の結果	P12
小学校（児童）	
中学校（生徒）	
8. 学校質問紙調査の結果	P26

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【恵庭市における調査結果の状況】

1 調査の概要

① 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

恵庭市は全国、全道的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。なお、令和7年度も令和6年度同様、全学校を対象として調査を実施する。

学校では各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

② 調査の対象学年

- ・小学校第5学年
- ・中学校第2学年

③ 調査の内容

I. 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という）測定方法等は新体力テストの方法による〔小学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）

II. 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）

④ 調査期間

令和7年4月から令和7年7月までの期間で実施

⑤ 参加状況（調査を受けた学校数、児童生徒数）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
恵庭市	8校	528人	5校	488人
全国	18,656校	924,976人	10,000校	867,926人
全道	935校	34,809人	576校	32,922人

2 用語の解説と説明

体力テスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m, 女子1000mの走行時間 (中学校選択)
	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数 (小学校・中学校選択)
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離 (小学校)
	ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離 (中学校)
体力合計点		点	上記のテスト成績を1点～10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5段階	上記のテストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数。
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る（いずれも正規分布の場合） 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果-平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点＝50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

【標準体重と肥満度判定】

「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$ $\text{肥満度 (\%)} = \frac{\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}}{\text{標準体重 (kg)}} \times 100$
--

■標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

■判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-20 ~ -29.9%	やせ
-30%以下	高度やせ

3 調査結果の掲載方法

全道・全国平均値との比較として、「記号」や「文言」で表します。

1. 「cm・m・kg・回・点・秒」の比較、表示方法

	ポイント差	文言	記号
	+5.0以上	上回る	△
	+2.0～ +4.9	やや上回る	◇
	-1.9～ +1.9	ほぼ同程度	≒
	-2.0～ -4.9	やや下回る	◆
	-5.0以下	下回る	▼

2. 「%」の比較、表示方法

	ポイント差	文言	記号
	+5.0%以上	上回る	△
	+2.0%～ +4.9%	やや上回る	◇
	-1.9%～ +1.9%	ほぼ同程度	≒
	-2.0%～ -4.9%	やや下回る	◆
	-5.0%以下	下回る	▼

恵庭市における「実技の結果・体格と肥満度に関する調査結果・児童生徒質問紙調査の結果・学校質問紙調査の結果」の実際の結果平均数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表いたしません。

同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表いたしません。

4 北海道の調査結果について

北海道教育委員会としての調査結果については、下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

北海道（公立）における調査結果のポイント
 ⇒ <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/a0001/b0003/>



5 実技の結果

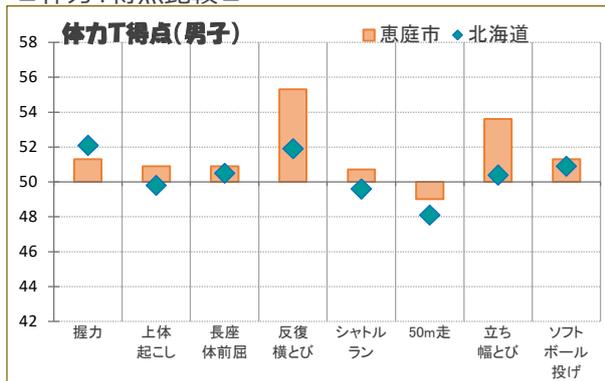
<小学校男子>

- 「反復横とび」は全国・全道平均をやや上回っている。「立ち幅とび」は全国・全道平均を上回っており、「20mシャトルラン」は全道平均をやや上回っており、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 令和4年～令和7年度の経年比較では、「体力合計点」は令和6年度の記録を上回っている。また「総合評価」については、A評価の割合が増加した。

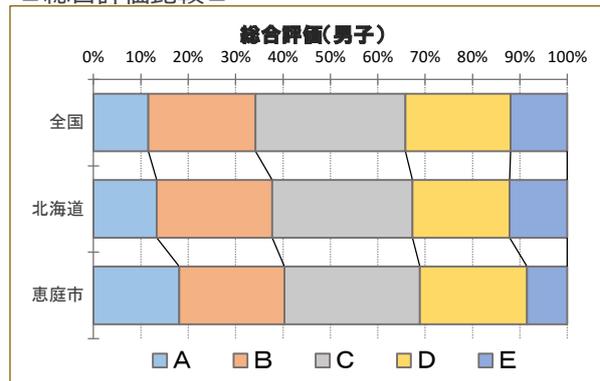
■種目別結果の平均値■

小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力 (kg)	15.96	16.76	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	21.06	21.85	≒	≒
上体起こし (回)	19.46	19.33	≒	≒	体力合計点 (点)	53.02	53.60	≒	≒
長座体前屈 (cm)	33.88	34.37	≒	≒	総合評価 (%)	A	11.3%	△	◇
反復横とび (点)	40.89	42.49	◇	◇		B	22.6%	≒	◆
20mシャトルラン (回)	47.94	47.16	≒	◇		C	31.6%	◆	≒
50m走 (秒)	9.46	9.67	≒	≒		D	22.2%	≒	◇
立ち幅とび (cm)	150.93	152.02	△	△		E	12.0%	◆	◆

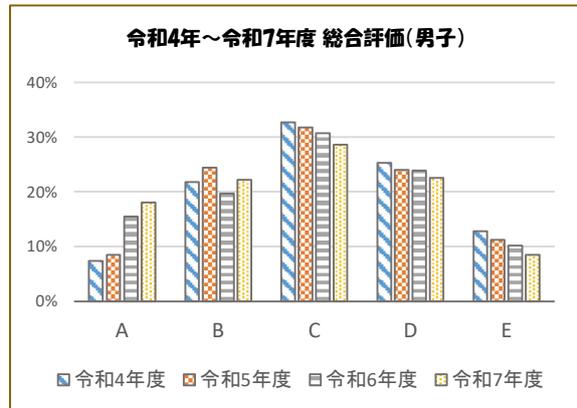
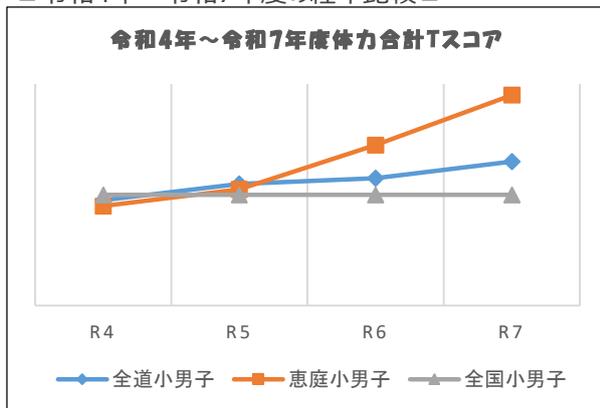
■体力T得点比較■



■総合評価比較■



■令和4年～令和7年度の経年比較■



<小学校女子>

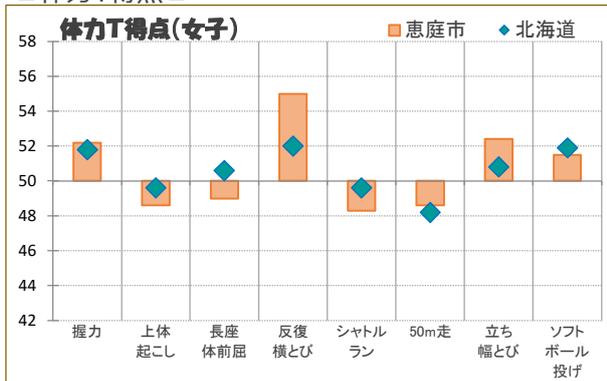
●「反復横とび」は全国・全道平均をやや上回っている。「20mシャトルラン」は全国・全道平均をやや下回っている。「立ち幅とび」は全国平均を上回り、全道平均をやや上回っている。それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。

●令和4年～令和7年度の経年比較では「体力合計」は令和6年度の記録を上回っている。また「総合評価」については、A評価の割合が増加した。

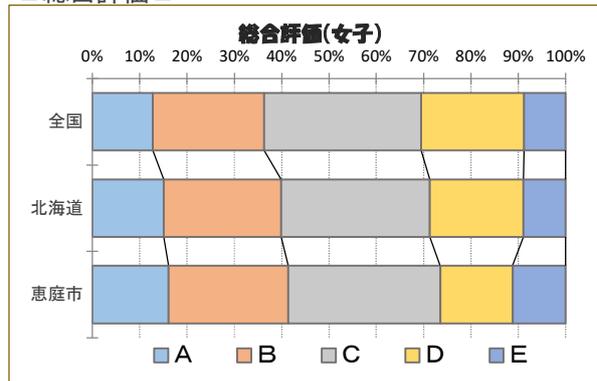
■種目別結果の平均値■

小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	15.61	16.29	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	13.11	14.04	≒	≒	
上体起こし (回)	18.36	18.12	≒	≒	体力合計点 (点)	53.97	54.61	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	38.15	38.71	≒	≒	総合評価 (%)	A	12.8%	15.1%	◇	≒
反復横とび (点)	38.70	40.25	◇	◇		B	23.5%	24.8%	≒	≒
20mシャトルラン (回)	36.85	36.13	◆	◆		C	33.2%	31.4%	≒	≒
50m走 (秒)	9.77	9.95	≒	≒		D	21.8%	19.8%	▼	◆
立ち幅とび (cm)	142.34	144.25	△	◇		E	8.8%	8.9%	◇	◇

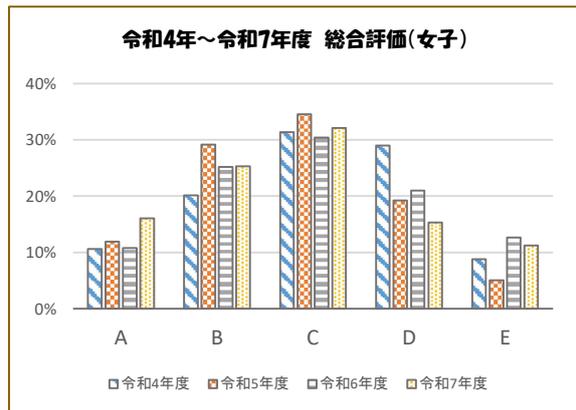
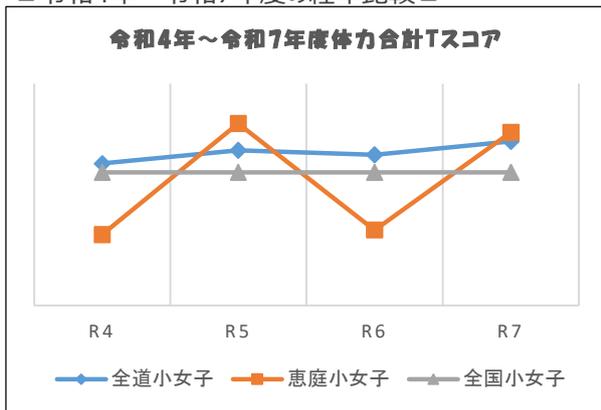
■体力T得点■



■総合評価■



■令和4年～令和7年度の経年比較■



5 実技の結果

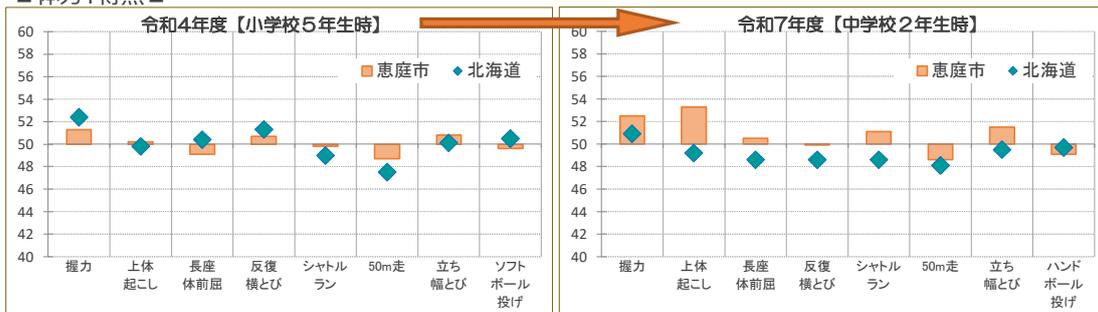
<中学校男子>

- 「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は全国平均をやや上回り、全道平均との比較では上回っている。「上体起こし」「長座体前屈」は全道平均をやや上回り、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 小学校5年生当時と比較すると、多くの種目でT得点の増加が見られる。総合評価ではA・B・C評価が増加し、D・E評価が減少している。
- 令和4年～令和7年度の経年変化では、「体力合計点」は最も高くなっている。

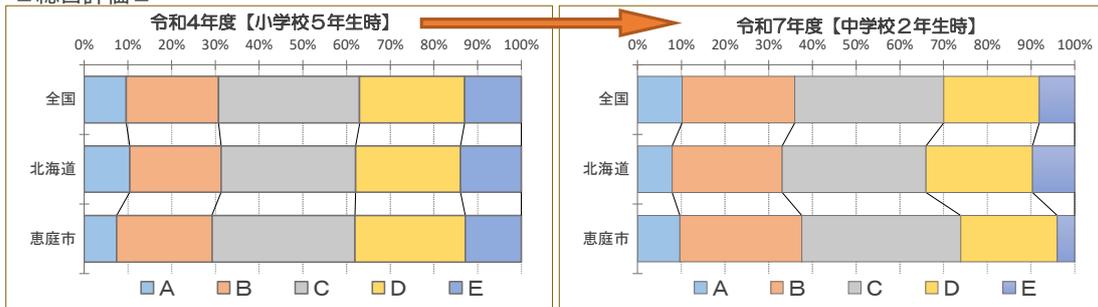
■種目別結果の平均値■

中学校 (男子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校 (男子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	28.95	29.63	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	20.74	20.57	≒	≒	
上体起こし (回)	26.09	25.61	≒	◇	体力合計点 (点)	42.20	41.05	≒	◇	
長座体前屈 (cm)	45.16	43.58	≒	◇	総合評価 (%)	A	10.2%	7.9%	≒	≒
反復横とび (点)	51.64	50.36	≒	≒		B	25.8%	25.2%	◇	◇
持久走 (秒)	409.25	431.14	△	△		C	34.1%	32.9%	◇	◇
20mシャトルラン (回)	78.82	75.24	◇	△		D	21.9%	24.3%	≒	◆
50m走 (秒)	8.00	8.17	≒	≒		E	8.1%	9.7%	◆	▼
立ち幅とび (cm)	197.51	195.81	◇	△	※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略					

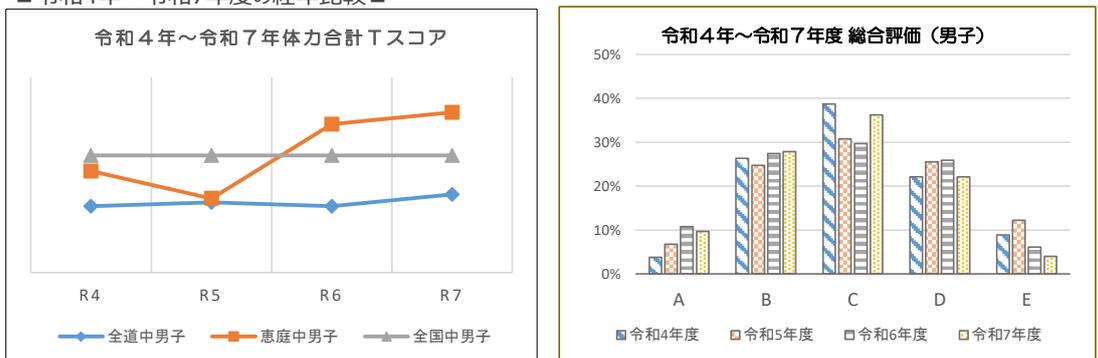
■体力T得点■



■総合評価■



■令和4年～令和7年度の経年比較■



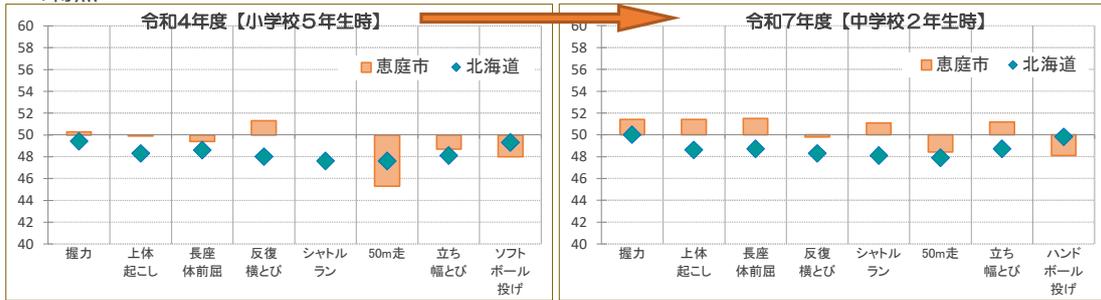
<中学校女子>

- 全国平均と比較して、「20mシャトルラン」「立ち幅とび」はやや上回っており、全道平均と比較すると、「長座体前屈」でやや上回り、「20mシャトルラン」「立ち幅とび」で上回っている。その他は全国・全道平均とほぼ同程度。
- 小学校5年生当時と比較すると、多くの種目でT得点が伸びており、総合評価でもA・B評価が増加している。
- 令和4年～令和7年度の経年変化では、「体力合計点」は昨年度からは低くなっているが全国・全道平均よりも高水準。また「総合評価」は、A評価の割合が増加した。

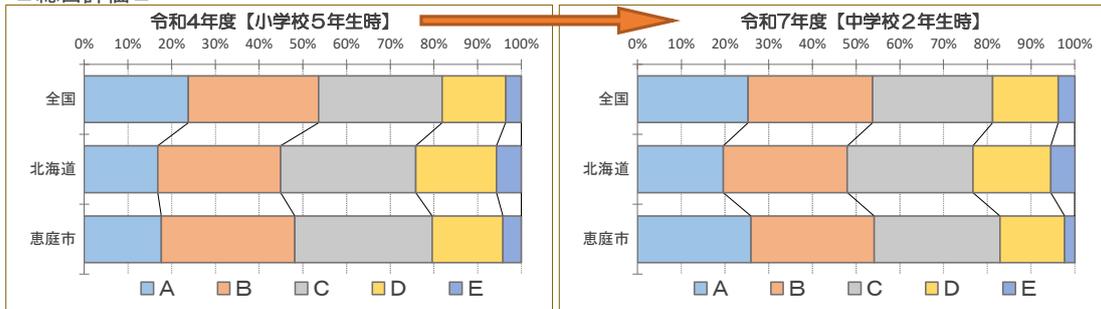
■種目別結果の平均値■

中学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	23.15	23.16	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	12.43	12.34	≒	≒	
上体起こし (回)	21.70	20.85	≒	≒	体力合計点 (点)	47.58	45.62	≒	◇	
長座体前屈 (cm)	46.99	45.62	≒	◇	総合評価 (%)	A	25.3%	19.6%	≒	△
反復横とび (点)	45.74	44.40	≒	≒		B	28.5%	28.4%	≒	≒
持久走 (秒)	309.66	327.24	◇	△		C	27.5%	28.7%	≒	≒
20mシャトルラン (回)	50.60	46.84	◇	△		D	15.0%	17.8%	≒	◆
50m走 (秒)	8.97	9.16	≒	≒		E	3.8%	5.5%	≒	◆
立ち幅とび (cm)	166.44	162.75	◇	△	※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略					

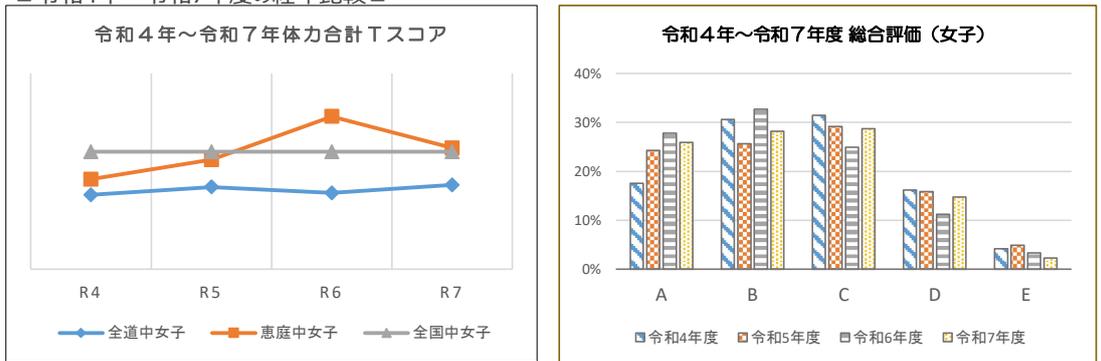
■T得点■



■総合評価■



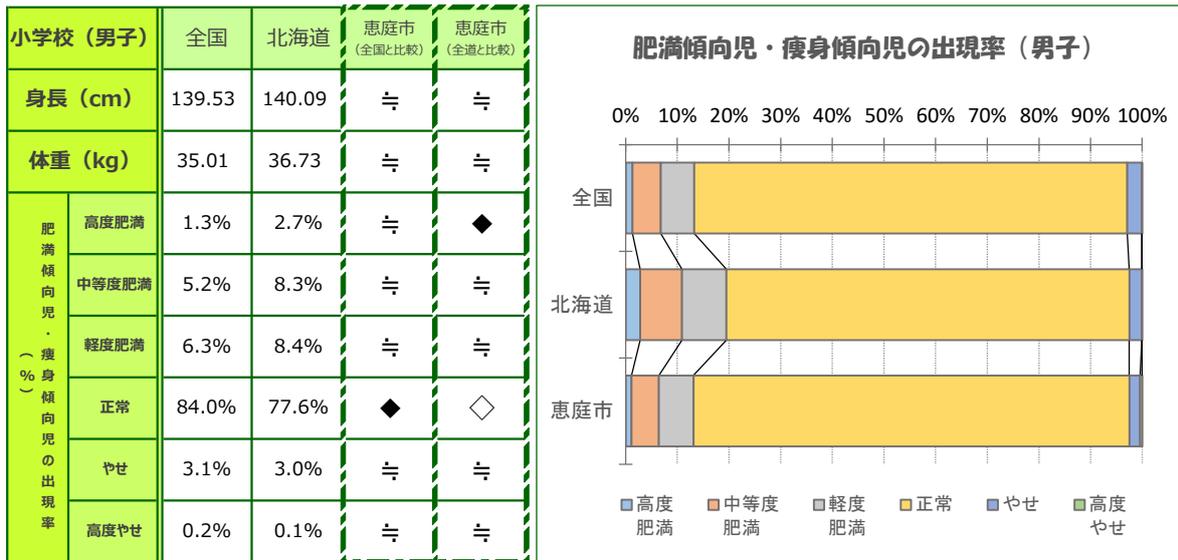
■令和4年～令和7年度の経年比較■



6 体格と肥満度に関する調査結果

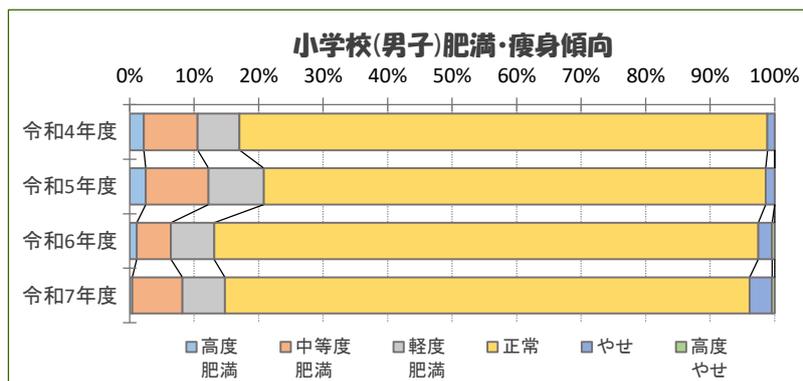
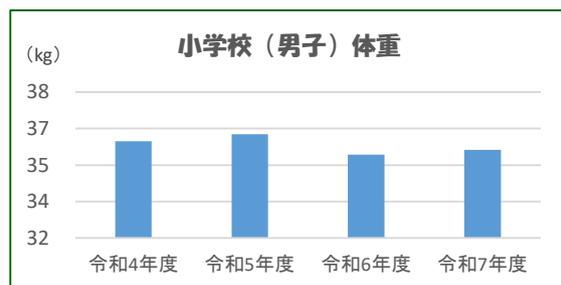
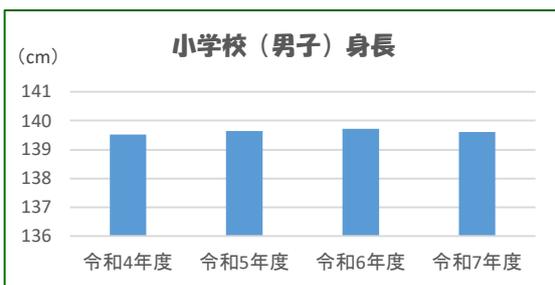
<小学校男子>

- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、全道と比べて「高度肥満」の割合がやや下回っている。また、「正常」の割合が全国をやや下回っており、全道を上回っている。それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。



■令和4年～令和7年度の経年比較■

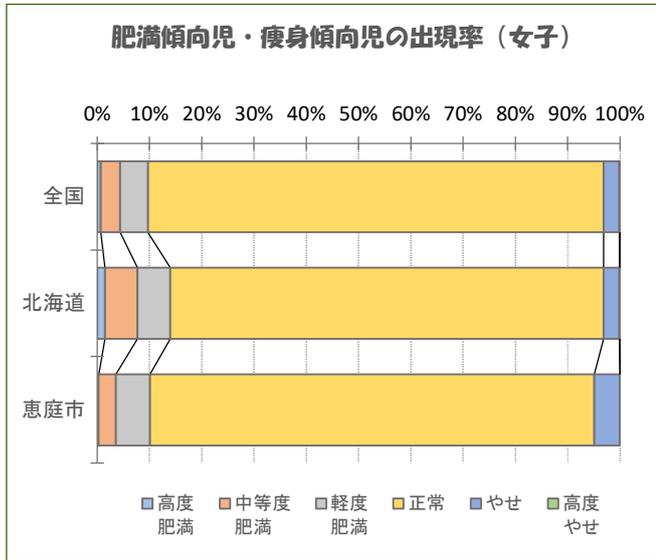
- 過去3年間と比較して、「身長」はほぼ変わらないが、「体重」はやや減少傾向みられる。
- 肥満・痩身傾向については、過去3年間と比較して「高度肥満」の割合が最も低く、「やせ」の割合が最も高い。



<小学校女子>

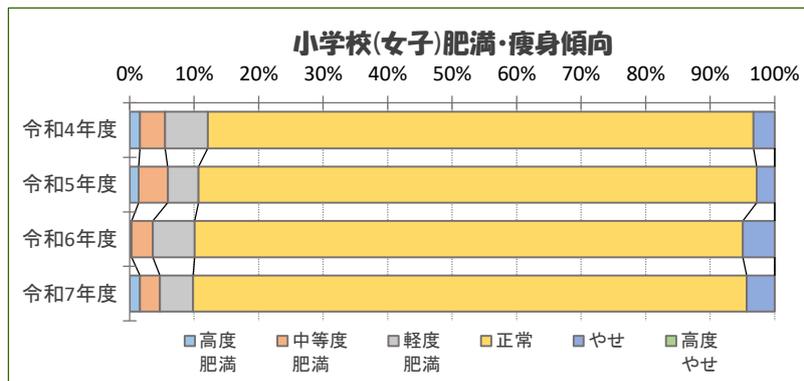
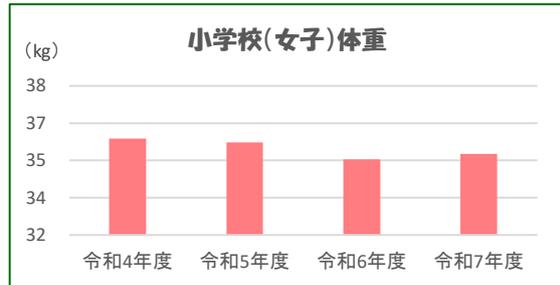
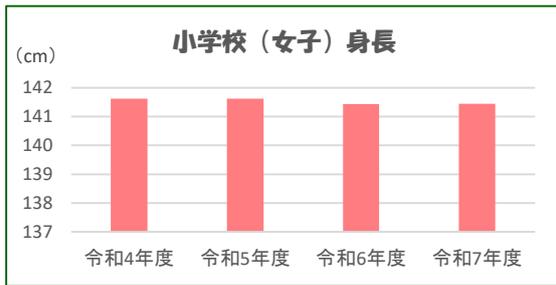
- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「中程度肥満」の割合が全道をやや下回り「正常」の割合が全道をやや上回っている。それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

小学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		140.81	141.52	≒	≒
体重 (kg)		34.70	35.93	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.7%	1.3%	≒	≒
	中等度肥満	3.5%	5.7%	≒	◆
	軽度肥満	5.2%	6.2%	≒	≒
	正常	87.1%	83.7%	≒	◇
	やせ	3.3%	3.0%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.1%	≒	≒



■令和4年～令和7年度の経年比較■

- 過去3年間と比較して、「身長」はほぼ同程度、「体重」は減少傾向。
- 肥満・痩身傾向については、「高度肥満」～「軽度肥満」の割合は減少傾向、「やせ」の割合は令和6年度よりやや低くなっている。



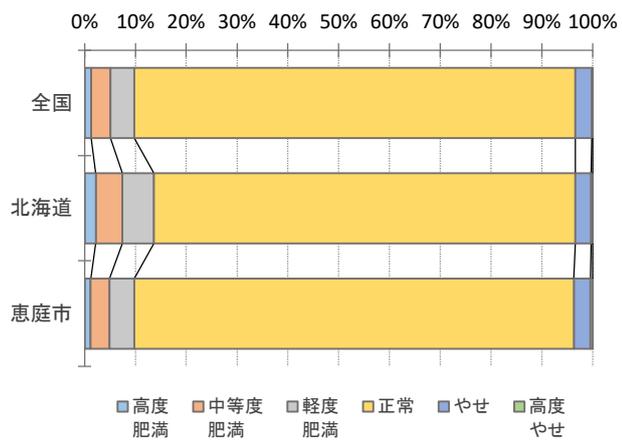
6 体格と肥満度に関する調査結果

<中学校男子>

- 身長と体重については全国・全道とほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全道をやや上回っている以外は全国・全道とほぼ同程度である。

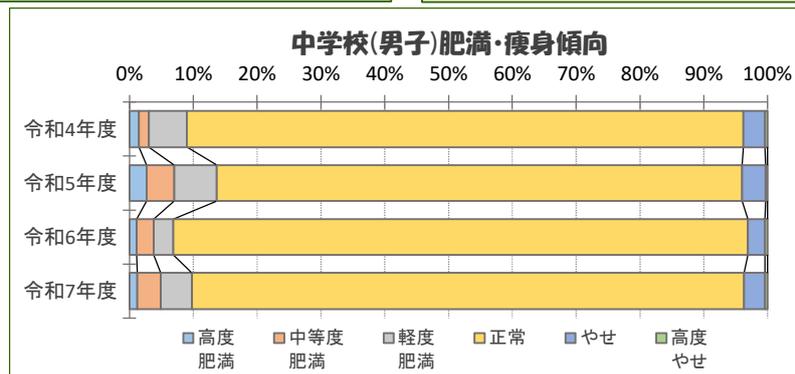
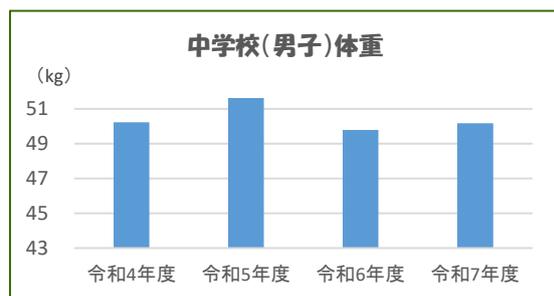
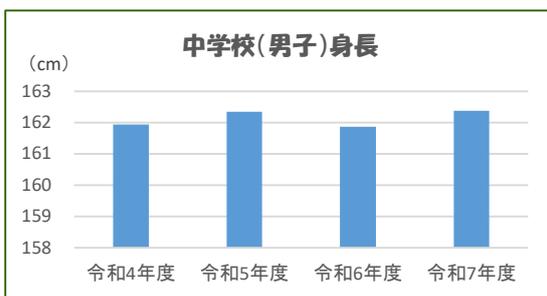
中学校(男子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		161.31	162.37	≒	≒
体重 (kg)		50.11	52.07	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.3%	2.2%	≒	≒
	中等度肥満	3.8%	5.2%	≒	≒
	軽度肥満	4.7%	6.2%	≒	≒
	正常	86.7%	82.9%	≒	◇
	やせ	3.2%	3.1%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.3%	≒	≒

肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(男子)



令和4年～令和7年度の経年比較

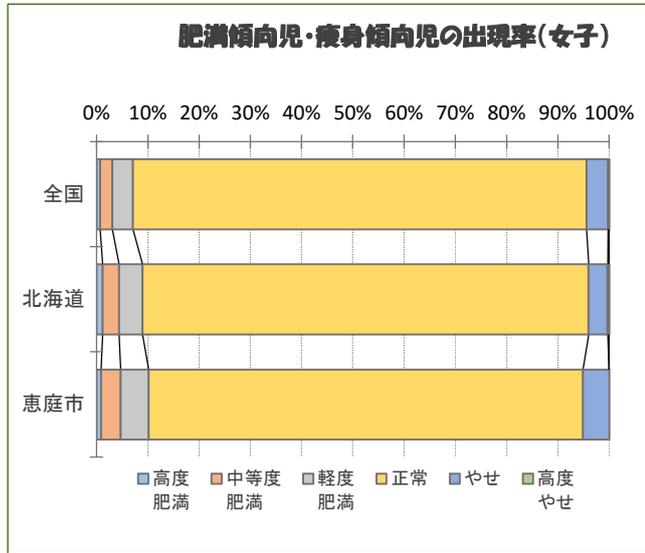
- 過去3年間と比較して、身長はもっともたかくなった。体重は減少傾向ではある。
- 肥満・痩身傾向については、令和6年度と比較すると肥満傾向は増加しているが3年間との比較では減少傾向が伺われる。



<中学校女子>

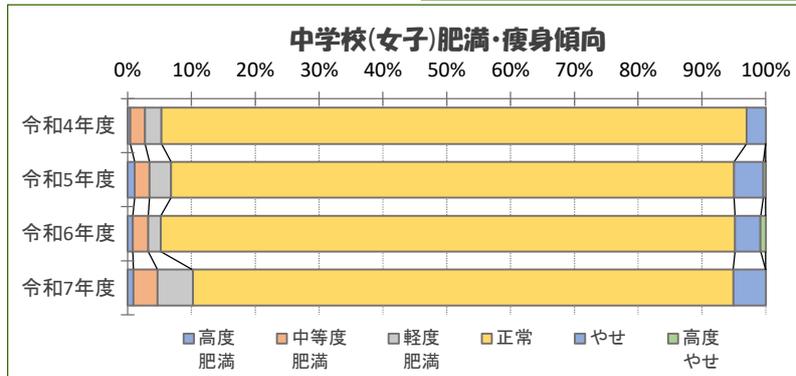
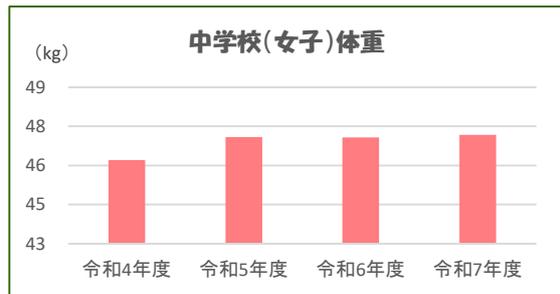
- 全国・全道平均と比較して、身長・体重ともほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全国・全道ともやや下回っているが、その他は全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		155.06	155.40	≒	≒
体重 (kg)		46.88	47.69	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.7%	1.2%	≒	≒
	中等度肥満	2.4%	3.2%	≒	≒
	軽度肥満	4.0%	4.6%	≒	≒
	正常	88.5%	87.0%	◆	◆
	やせ	4.2%	3.7%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.3%	≒	≒



■令和4年～令和7年度の経年比較■

- 過去3年間と比較して、「身長・体重」とともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、「軽度肥満」の割合が過去3年間で最も高く、「高度やせ」が最も低くなっている。

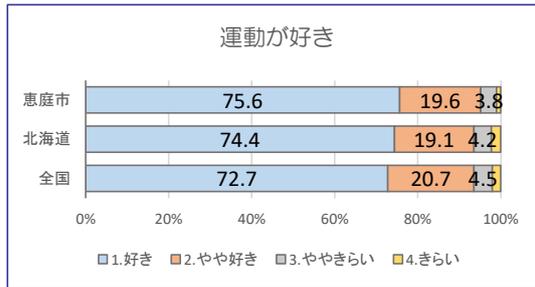


7 児童生徒質問紙調査の結果（小学校）

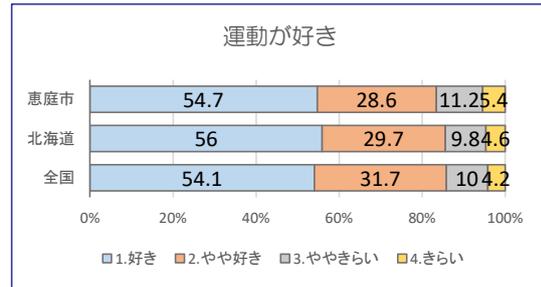
運動に対する意識

- 運動が「好き」と回答した割合について、男子は全国よりやや高く、全道平均と同程度の割合であるが、女子は全国・全道と同程度の割合である。
- 運動への興味・関心は全国・全道平均と比較して、男女ともにほとんどの項目で上回っている。
- 中学校で授業以外でも自主的に運動したいに「思う」と回答した割合について、全国・全国平均と比較して、男女ともにやや上回っている。

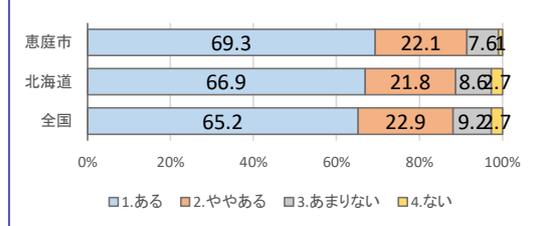
小学生・男子



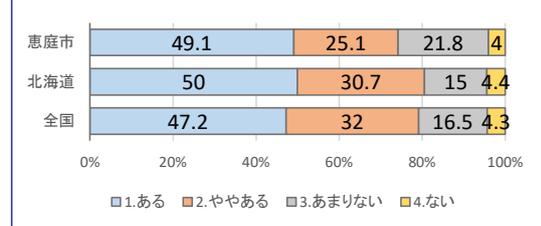
小学生・女子



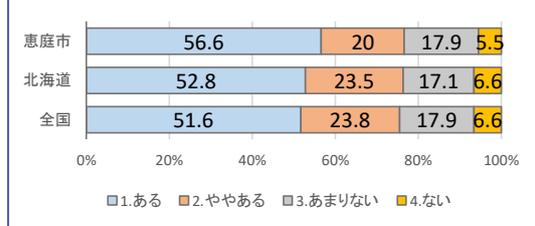
運動への興味・関心（すること）



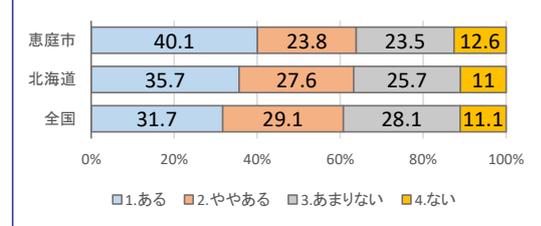
運動への興味・関心（すること）



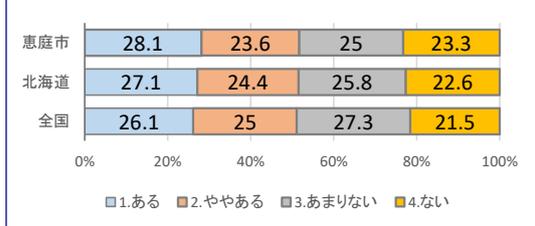
運動への興味・関心（みること）



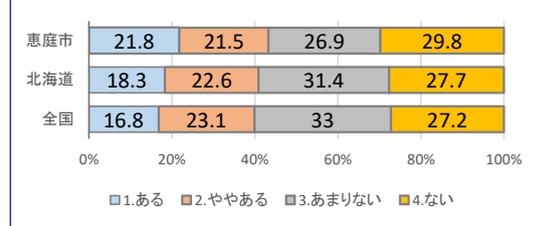
運動への興味・関心（みること）



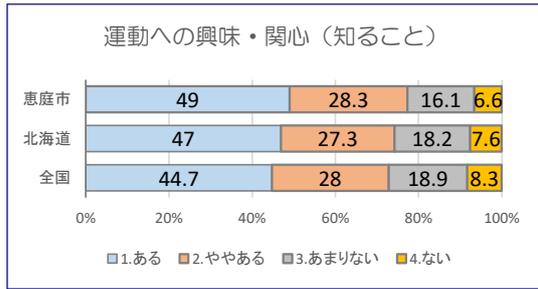
運動への興味・関心（ささえること）



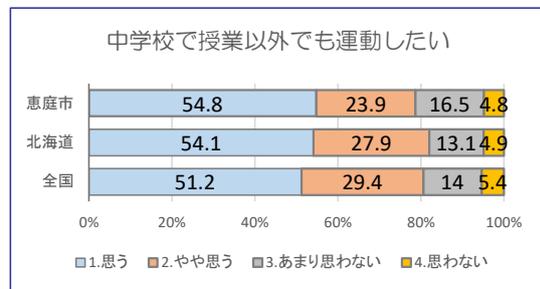
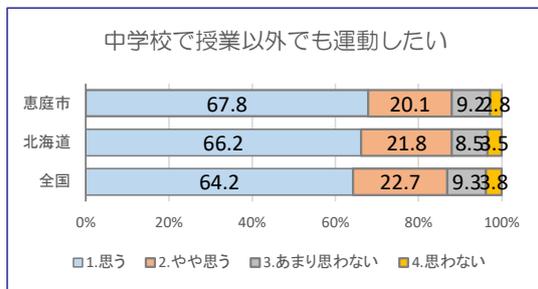
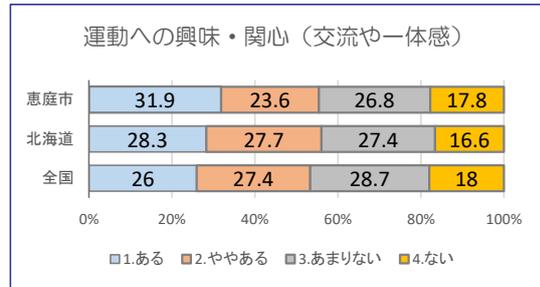
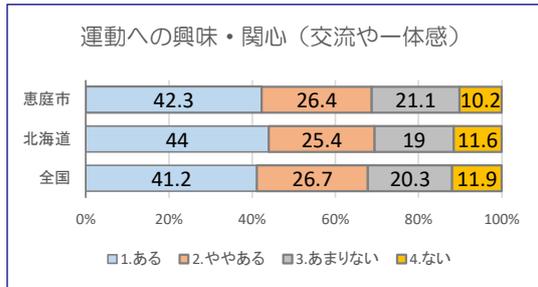
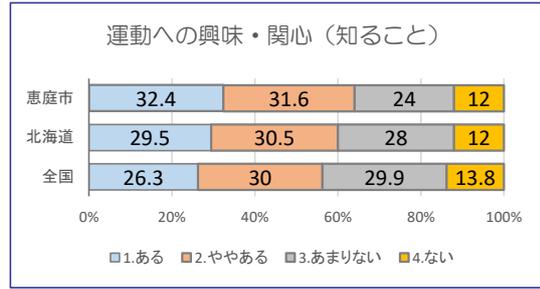
運動への興味・関心（ささえること）



小学生・男子



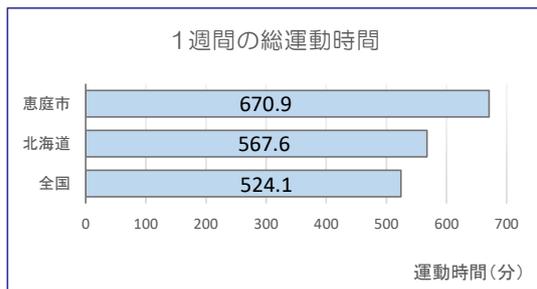
小学生・女子



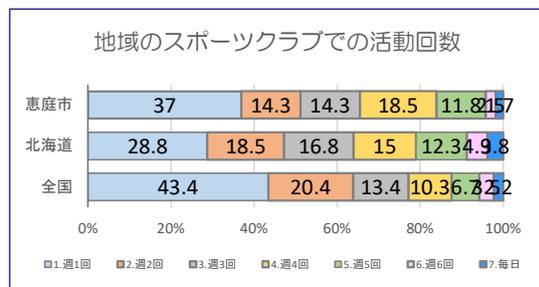
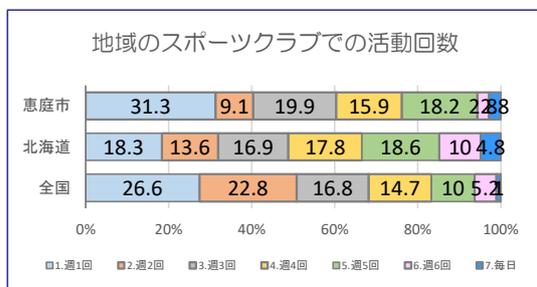
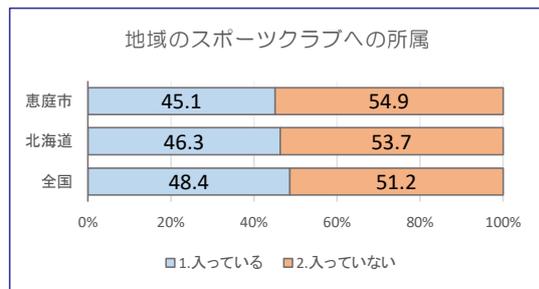
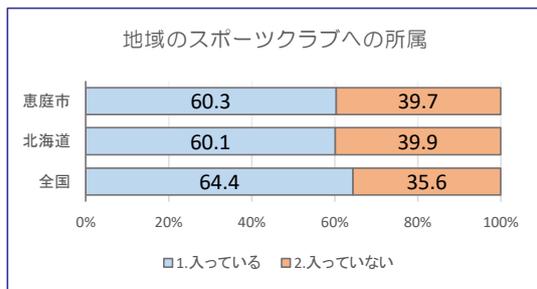
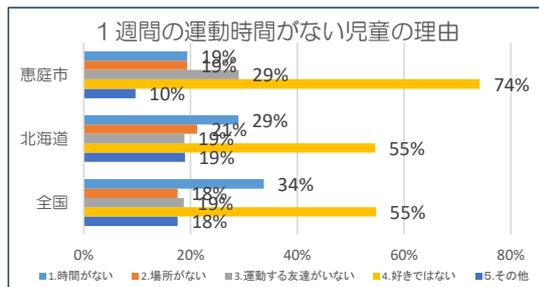
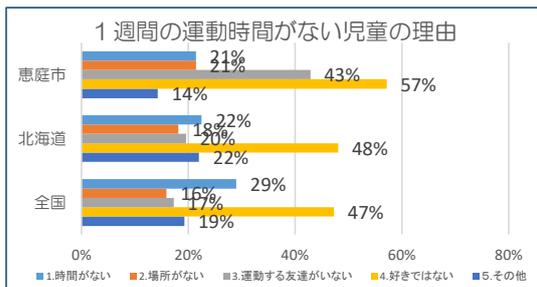
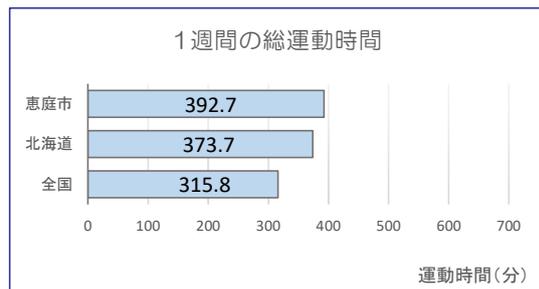
運動習慣について

- 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を比較すると、男女ともに全国平均を上回っている。
- 地域のスポーツクラブの所属について、「入っていない」と回答した割合は、女子では半数を超えている。また、全国平均と比較して「入っている」と回答した割合は、男女ともにはやや下回っている。
- 地域のスポーツクラブでの活動回数は、男子では「週1回」が最も多く、次いで「週3回」、女子では「週1回」が最も多く、次いで「週4回」と回答した割合が高い。

小学生・男子



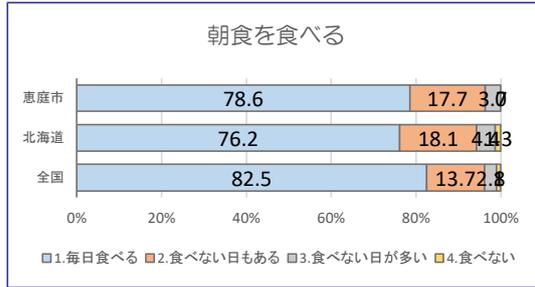
小学生・女子



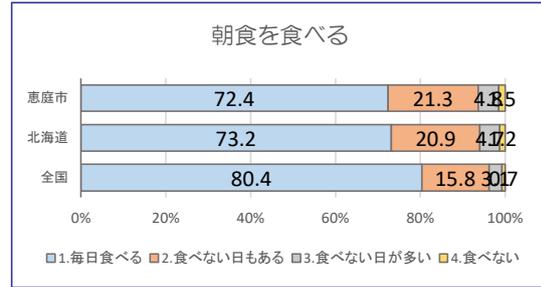
生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較すると男女ともに下回っているが、全道平均と比較すると、男子はやや上回っており、女子はほぼ同程度である。
- 1日の睡眠時間については、全国・全道平均と比較して男女ともにほぼ同様の結果となっている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、「4時間以上」と回答した割合が、男子では全国平均を上回っているが、全道平均とほぼ同程度、女子は全国平均とほぼ同程度であるが、全道平均では下回っている。

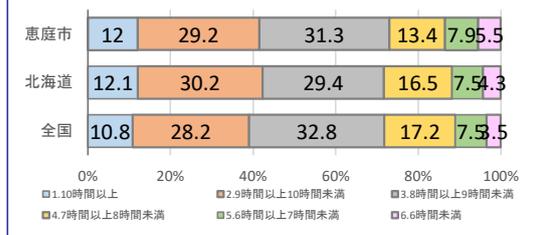
小学生・男子



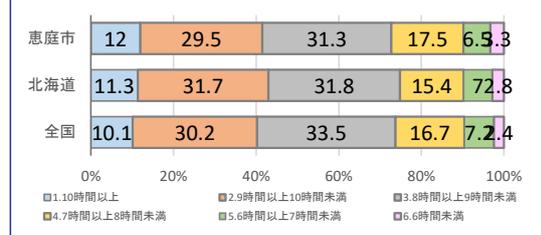
小学生・女子



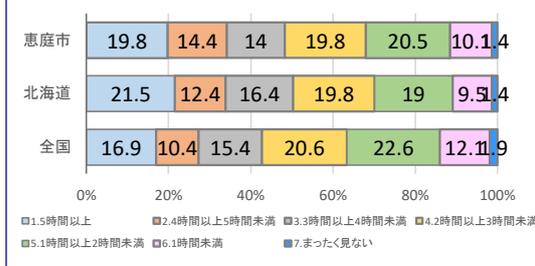
1日の睡眠時間



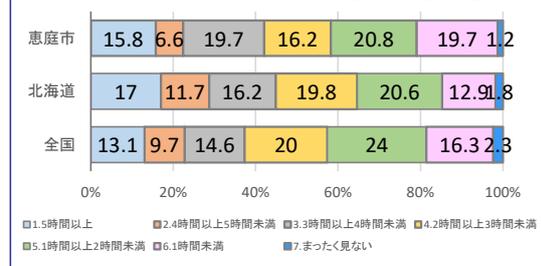
1日の睡眠時間



平日のTV・ゲーム・スマホ等の視聴時間



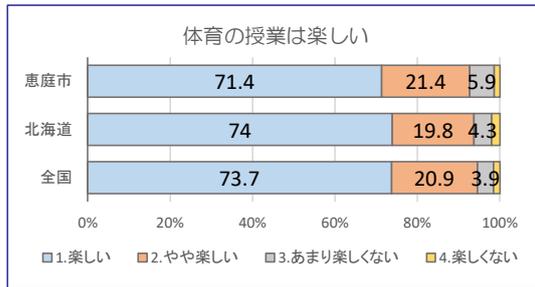
平日のTV・ゲーム・スマホ等の視聴時間



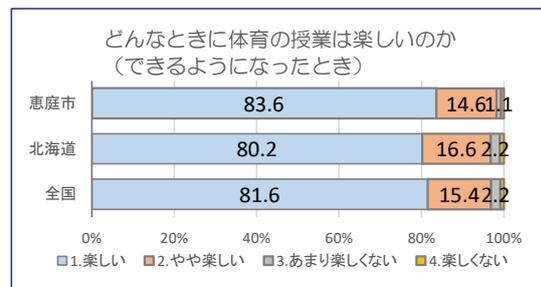
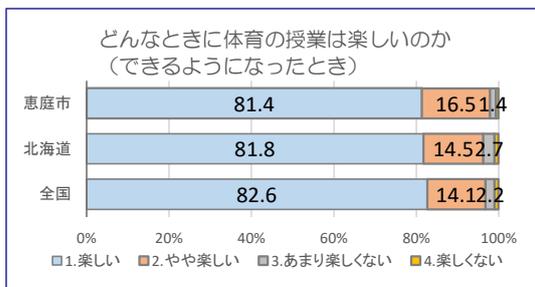
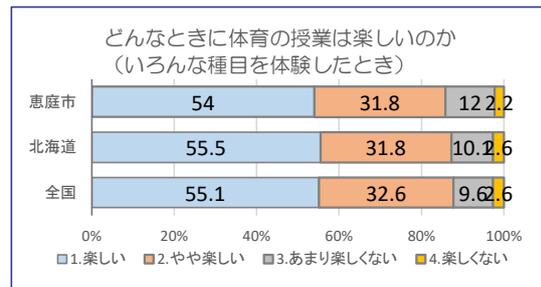
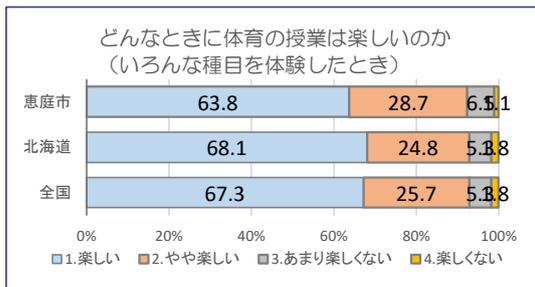
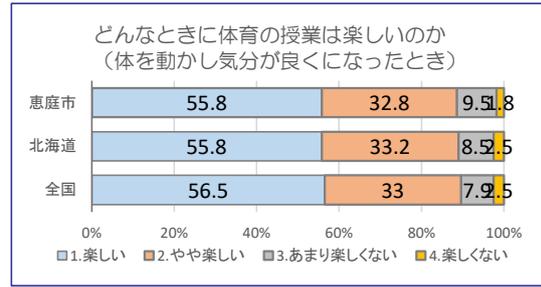
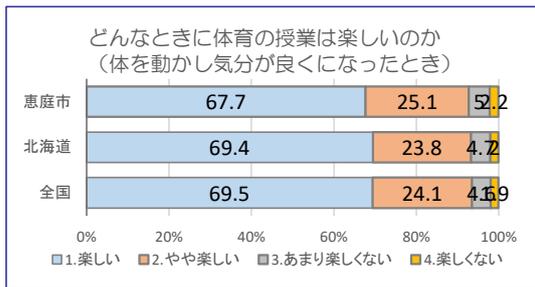
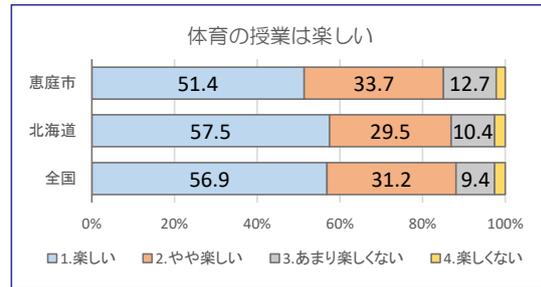
体育の授業について

- 体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子はやや下回っており、女子は下回っている。
- 体育の授業が楽しいときは、男子では「記録に挑戦したり上がったとき」、女子では「できるようになったとき」の回答が全国平均と比較するとやや上回っている。
- 体育の授業で「進んで学習している」と回答した割合は、男子は全国・全道平均と同程度であるが、女子は下回っている。
- 体育の授業で友だちと助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国・全道平均と比較して、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。
- 体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した割合は、男子は全国・全道平均をやや下回っており、女子は同程度である。

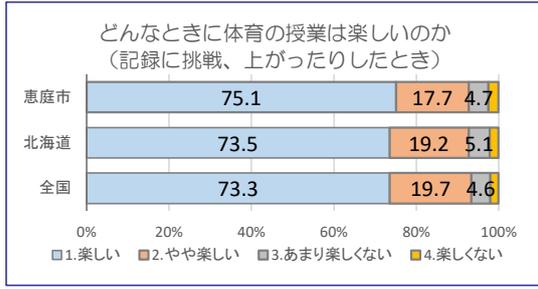
小学生・男子



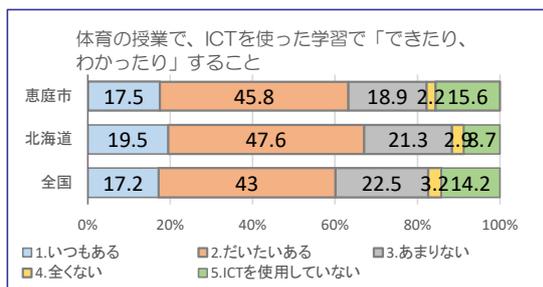
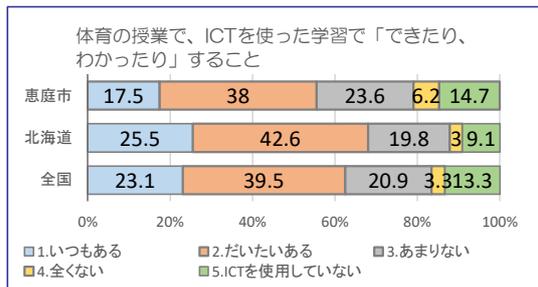
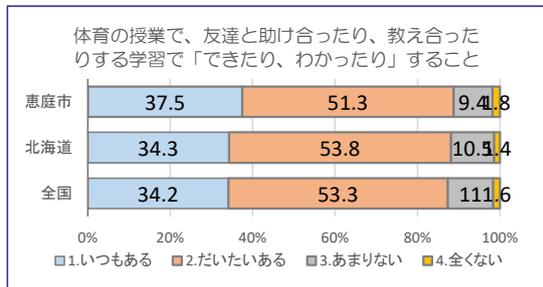
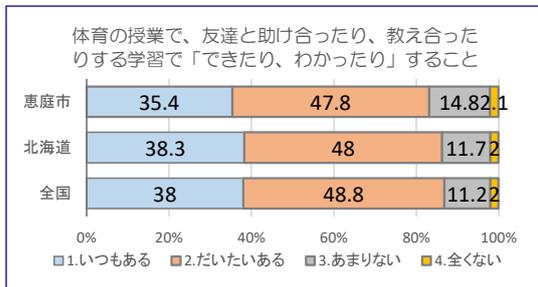
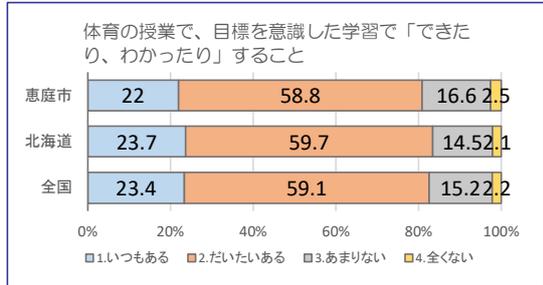
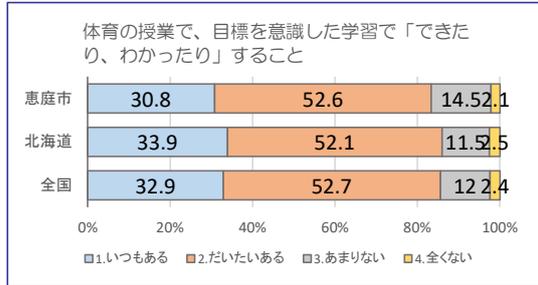
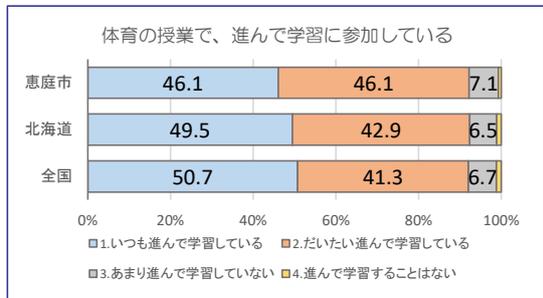
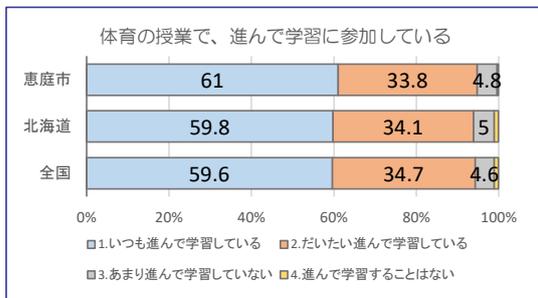
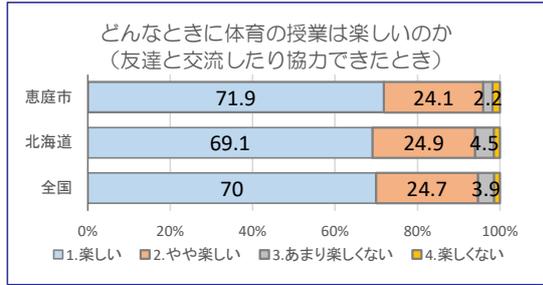
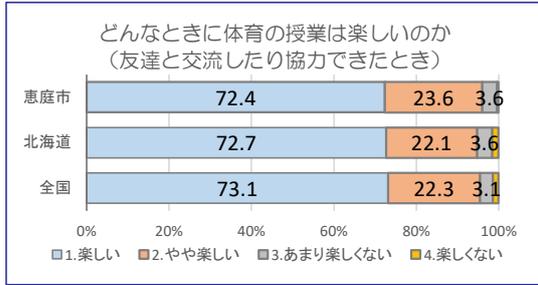
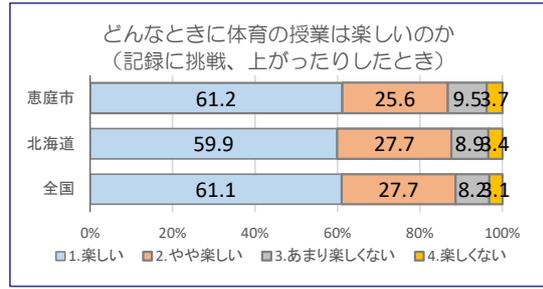
小学生・女子



小学生・男子



小学生・女子



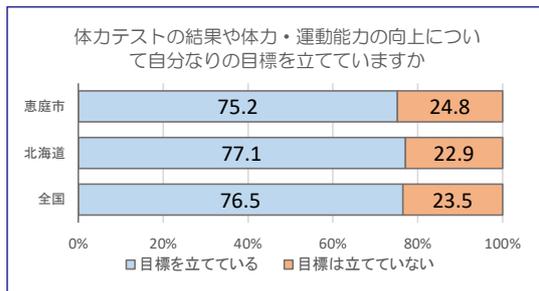
自分にあてはまることについて

●体力テストの結果や体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている割合は、男子では全国・全道平均と比較して同程度であり、女子は全国と同程度で、全道よりもやや低い。

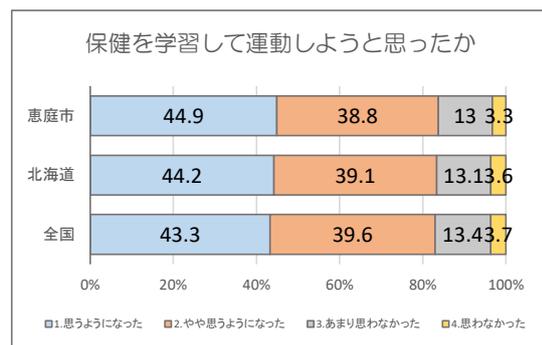
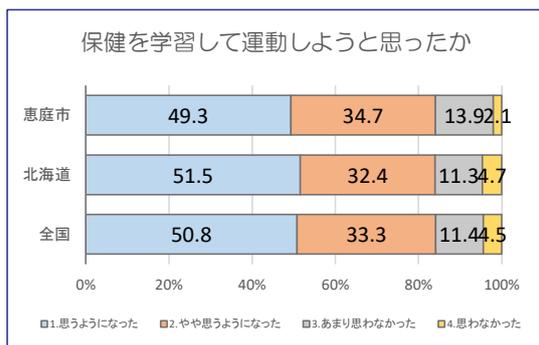
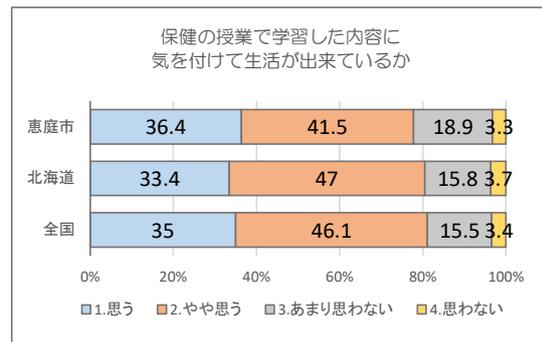
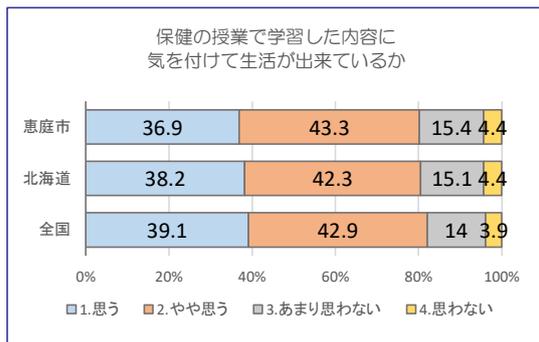
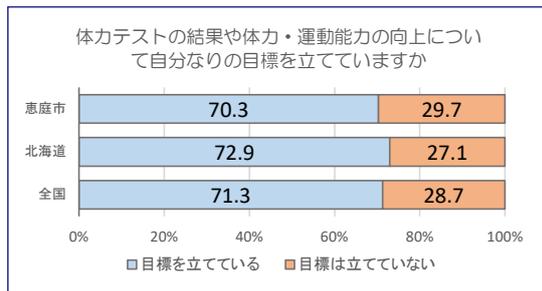
●保健の授業で学習した内容に気を付けて生活できていることについて「思う」と回答した割合は、男子は全国平均よりもやや低く、女子は全道平均よりもやや高くなっている。

●保健を学習して運動しようと思った割合は全国・全道平均と比較するとほぼ同程度であった。

小学生・男子



小学生・女子

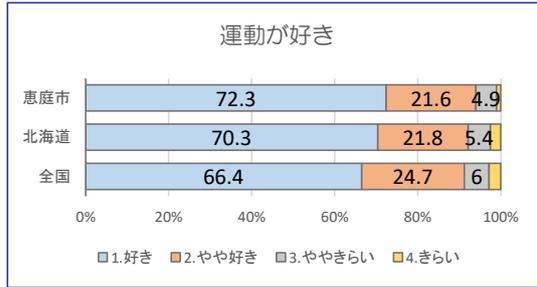


7 児童生徒質問紙調査の結果（中学校）

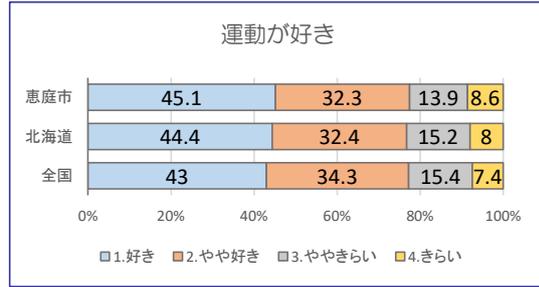
運動に対する意識

- 運動が「好き」と回答した割合について、男子は全国平均より高く、全道よりやや高くなっている。女子は全国よりやや高く、全道と同程度の割合である。
- 運動への興味・関心は全国・全道平均と比較して、男子は「すること」「ささえること」「交流や一体感」で上回っており、女子は「すること」「ささえること」で上回っている。
- 中学校卒業後に自主的に運動したいに「思う」と回答した割合について、全国・全国平均と比較して、男子は高く、女子は同程度となっている。

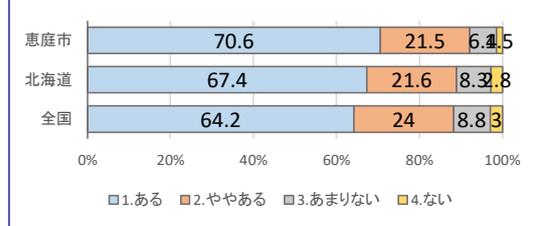
中学生・男子



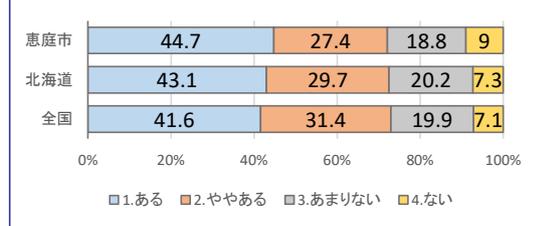
中学生・女子



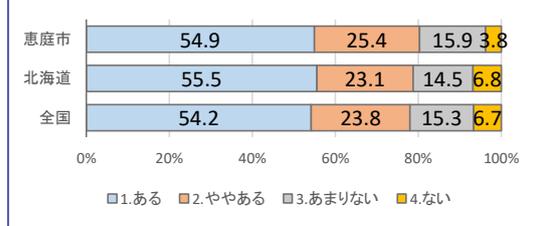
運動への興味・関心（すること）



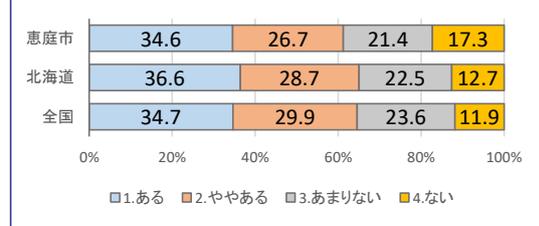
運動への興味・関心（すること）



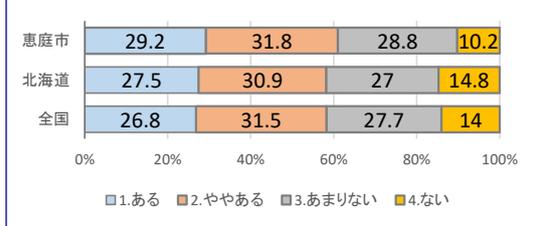
運動への興味・関心（みること）



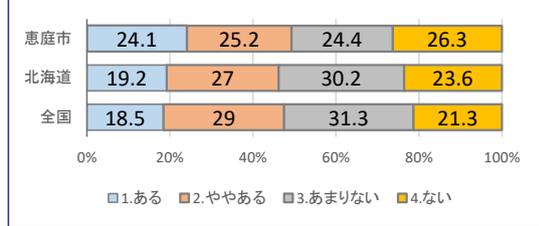
運動への興味・関心（みること）



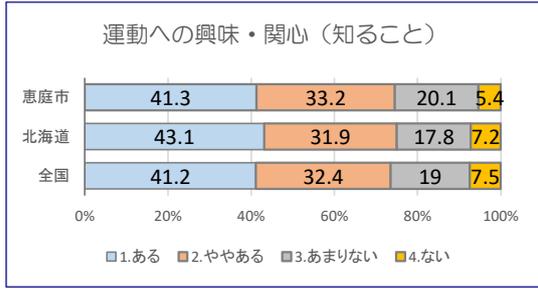
運動への興味・関心（ささえること）



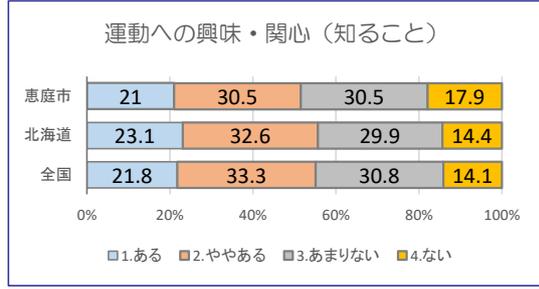
運動への興味・関心（ささえること）



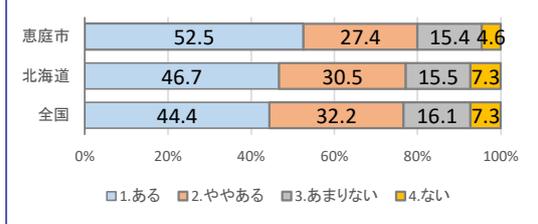
中学生・男子



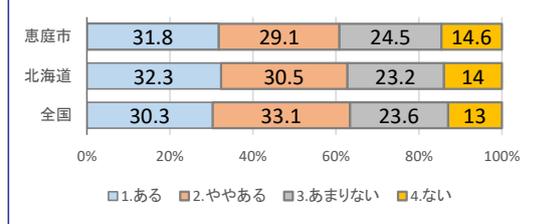
中学生・女子



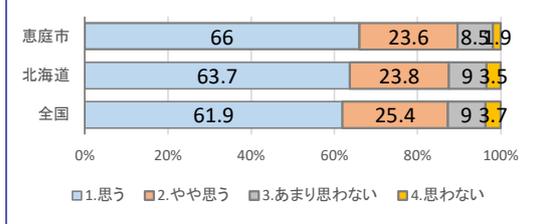
運動への興味・関心（交流や一体感）



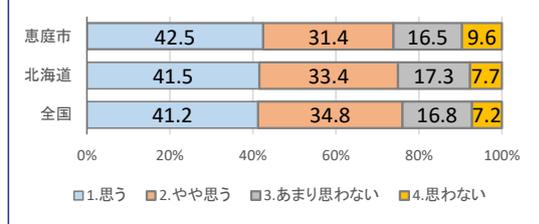
運動への興味・関心（交流や一体感）



中学校卒業後、自主的に運動したい



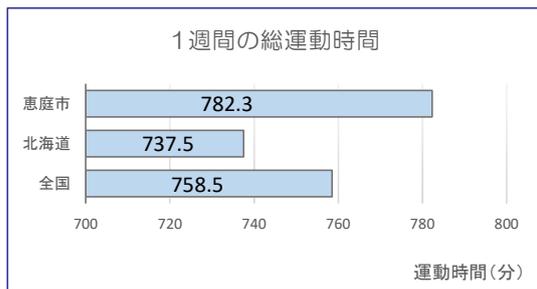
中学校卒業後、自主的に運動したい



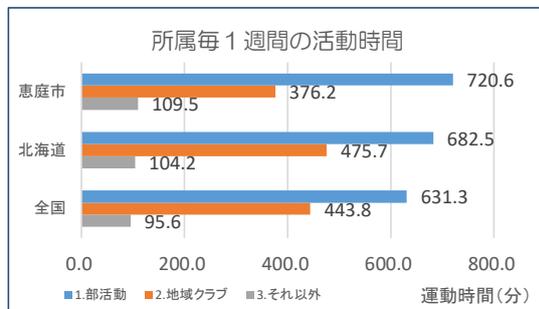
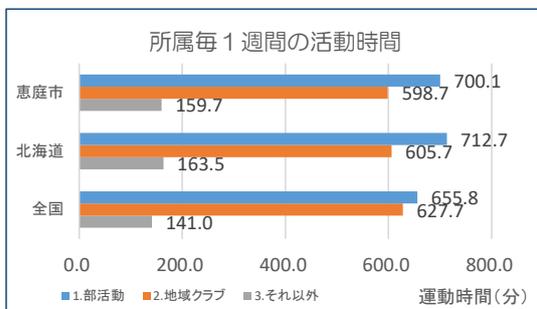
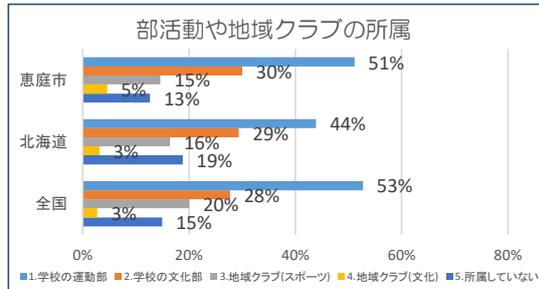
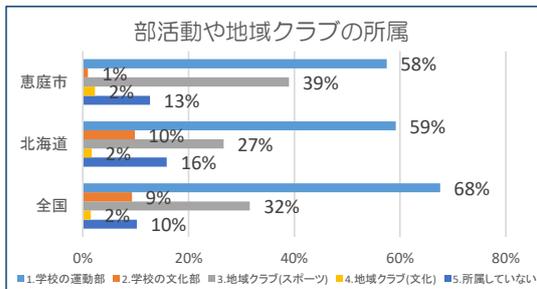
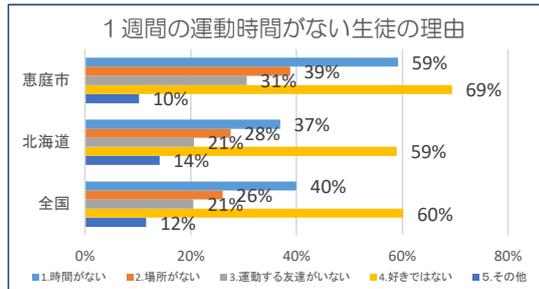
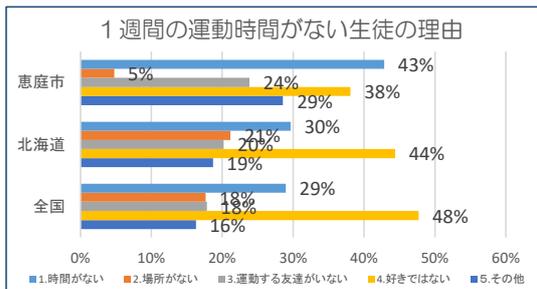
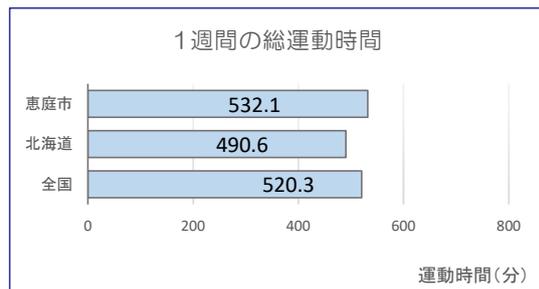
運動習慣について

- 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を比較すると、男女ともに全国平均を上回っている。
- 部活動や地域クラブの所属については、全国・全道平均と比較すると、男子は運動部の加入は少なく、地域クラブの加入が多くなっており、女子は全国と同程度であるが、全道よりは加入が高くなっている。
- 所属毎の1週間の活動時間は、男女ともに全国平均よりも部活動の時間が長く、地域クラブの時間が短い、その割合は男子よりも女子の方が差が大きくなっている。

中学生・男子



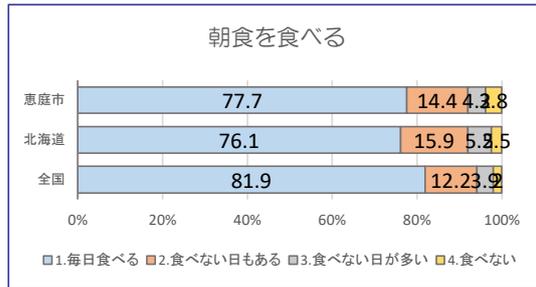
中学生・女子



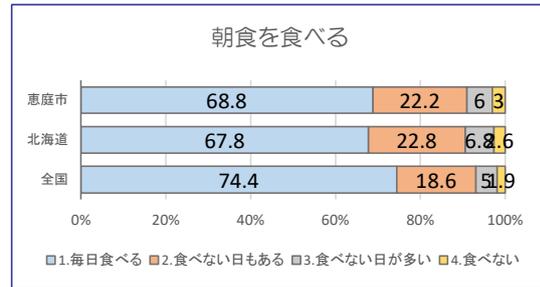
生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較すると男女ともに下回っているが、全道平均と比較するとほぼ同程度である。
- 1日の睡眠時間については、全国・全道平均と比較して8時間以上の割合は男子はほぼ同様の結果となっており、女子は下回っている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、「4時間以上」と回答した割合が、男子では全国・全道平均を下回っている。女子は全国平均をやや下回っており、全道平均では下回っている。

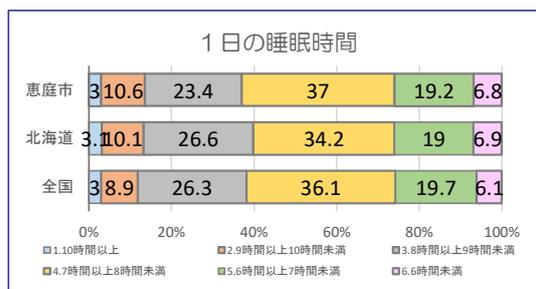
中学生・男子



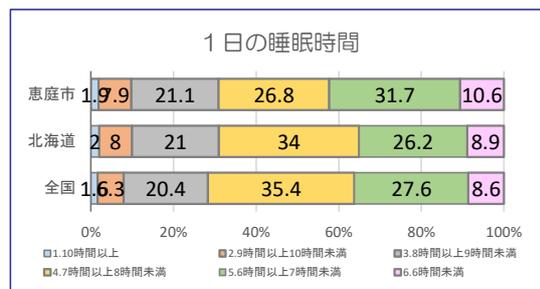
中学生・女子



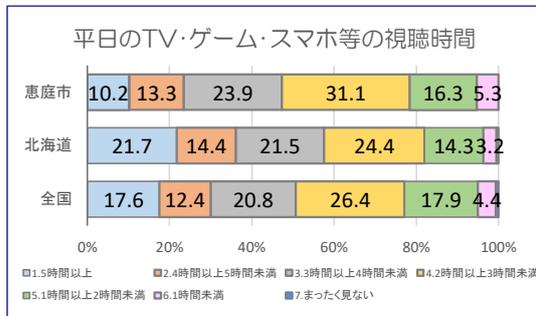
1日の睡眠時間



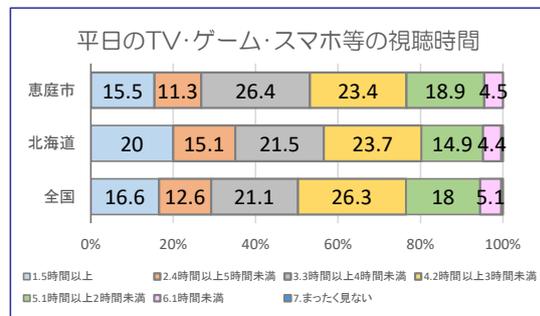
1日の睡眠時間



平日のTV・ゲーム・スマホ等の視聴時間



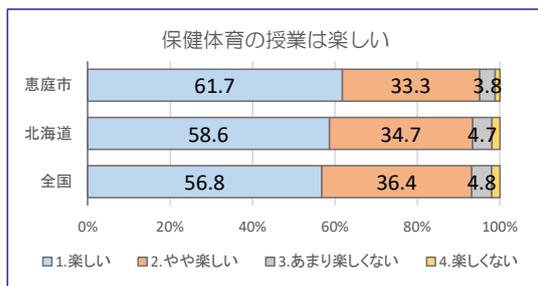
平日のTV・ゲーム・スマホ等の視聴時間



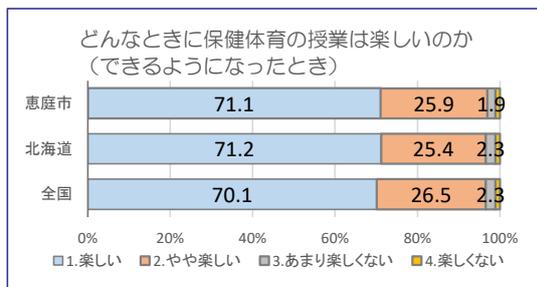
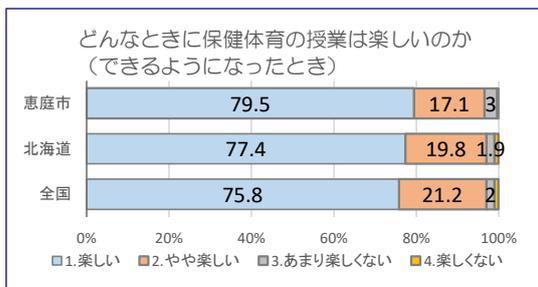
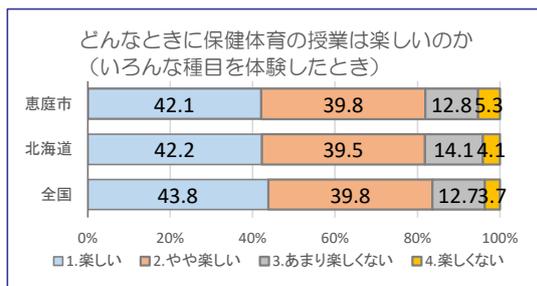
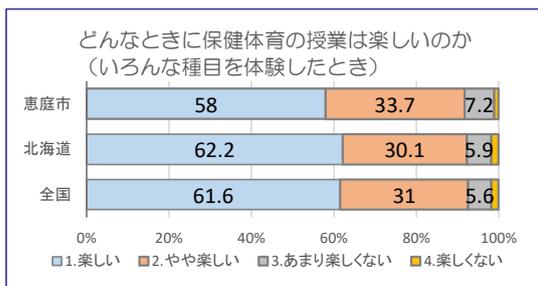
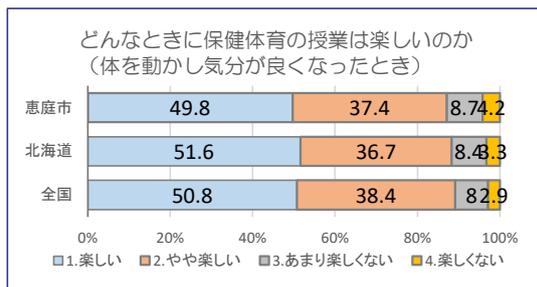
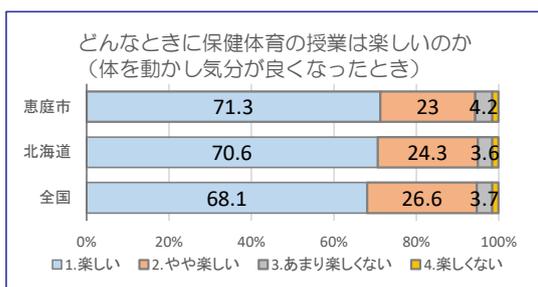
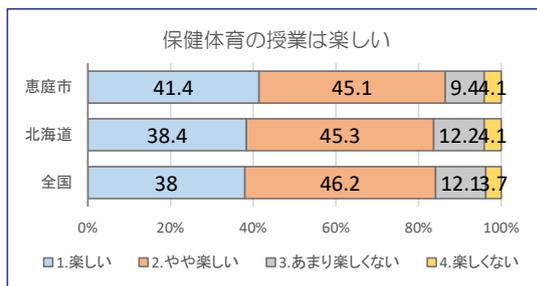
保健体育の授業について

- 保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較して、男女ともにやや上回っている。
- 保健体育の授業が楽しいときは、全国・全道平均と比較すると男子では「体を動かし気分が良くなったとき」「できなかったことができるようになったとき」が上回っており、女子では「記録に挑戦したり上がったとき」「友だちと交流したり協力できたとき」が下回っているが他の項目は同程度である。
- 保健体育の授業で「進んで学習している」と回答した割合は、男女ともに全国平均と同程度であり、全道平均よりもやや上回っている。
- 保健体育の授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国・全道平均と比較して、男子は「目標を意識した学習」「ICTを使った学習」で高く、女子は「友だちと助け合ったり教え合ったりする学習」で低く、「ICTを使った学習」で高い。

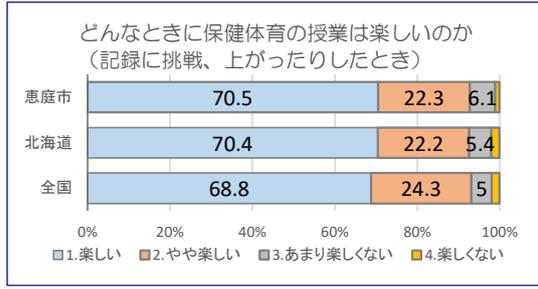
中学生・男子



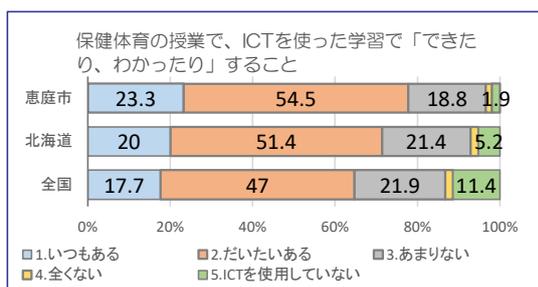
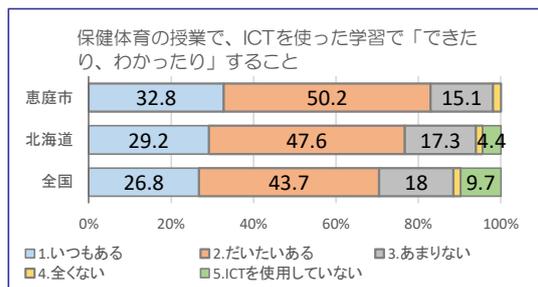
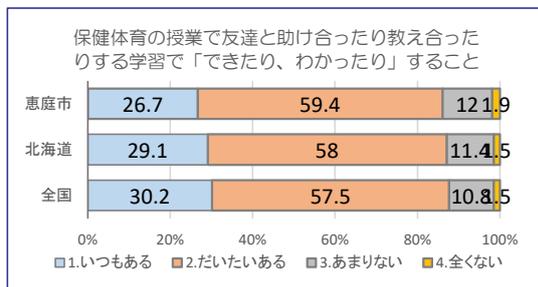
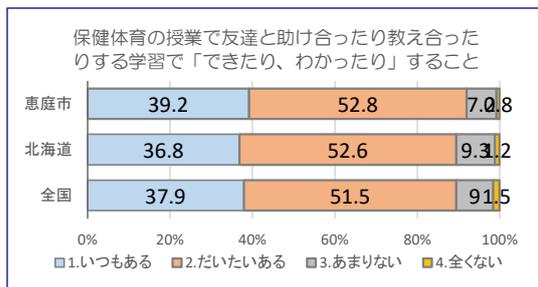
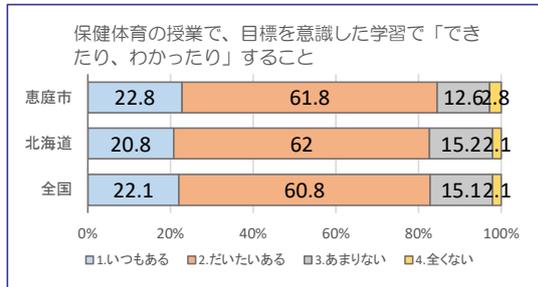
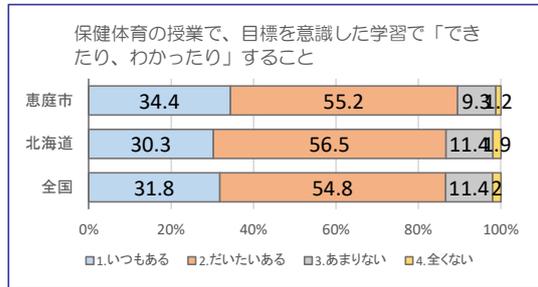
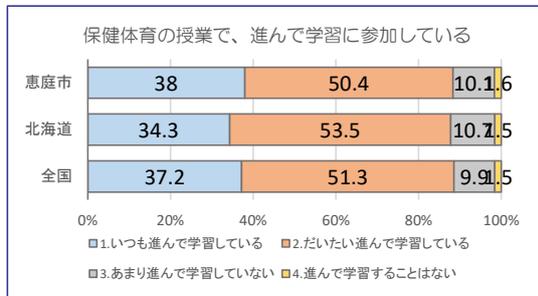
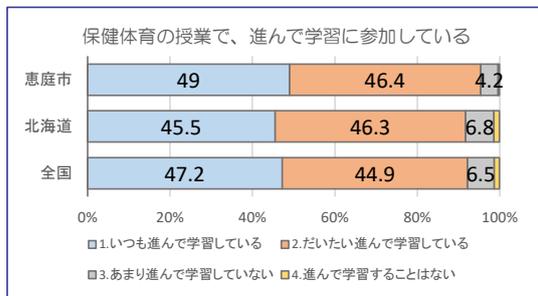
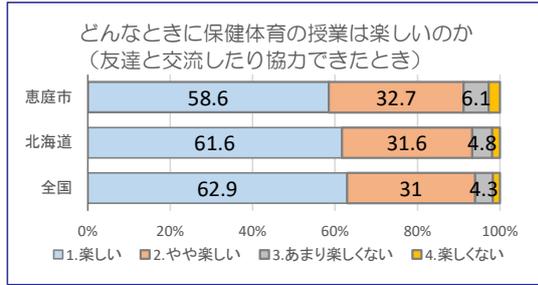
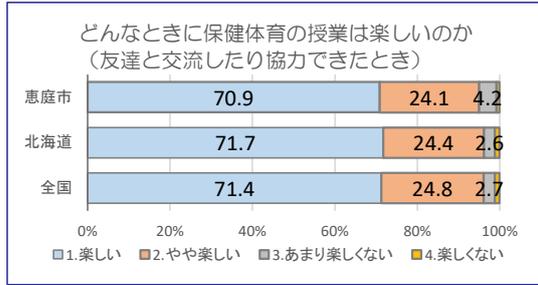
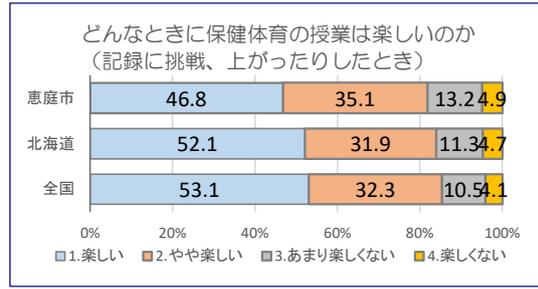
中学生・女子



中学生・男子



中学生・女子



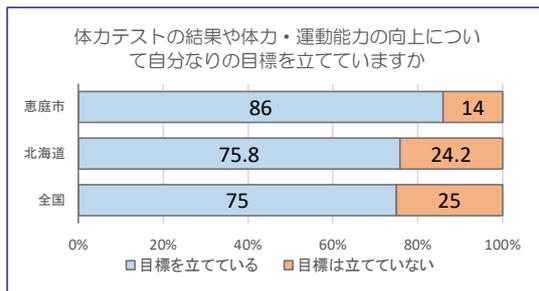
自分にあてはまることについて

●体力テストの結果や体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている割合は、全国・全道平均と比較して男女ともに高くなっている。

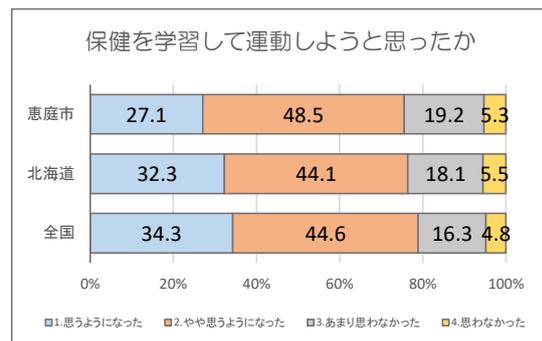
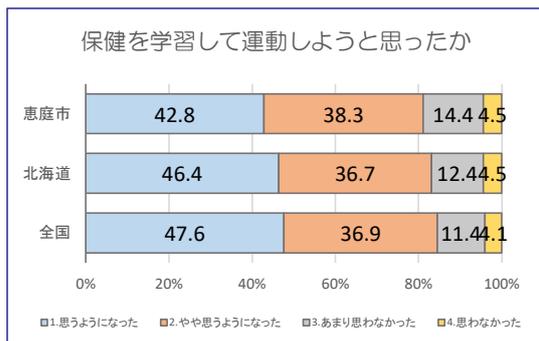
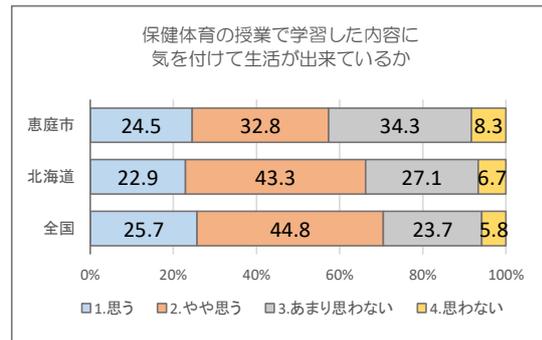
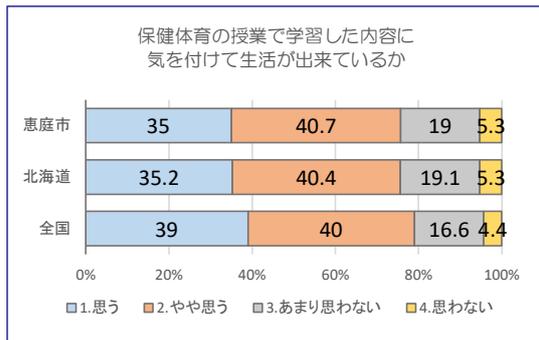
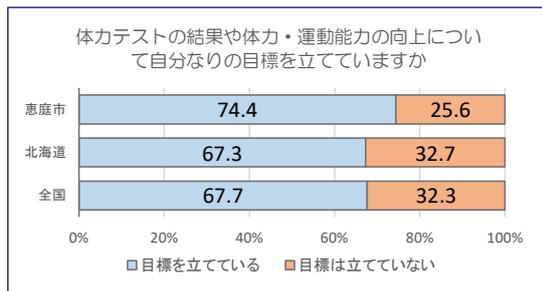
●保健体育の授業で学習した内容に気を付けて生活できていることについて「思う」と回答した割合は、男子は全国平均よりもやや低く、女子は全道平均よりもやや高くなっている。

●保健を学習して運動しようと思った割合は全国・全道平均と比較すると、男子ではやや低く、女子では低くなっている。

中学生・男子



中学生・女子



8 学校質問紙調査の結果 (小・中学校)

体力・運動能力向上のための取組

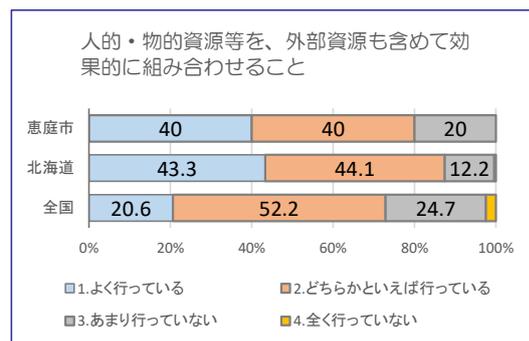
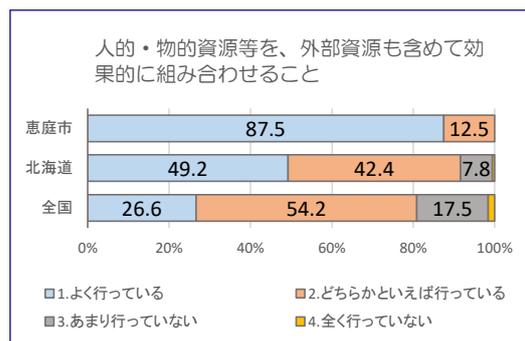
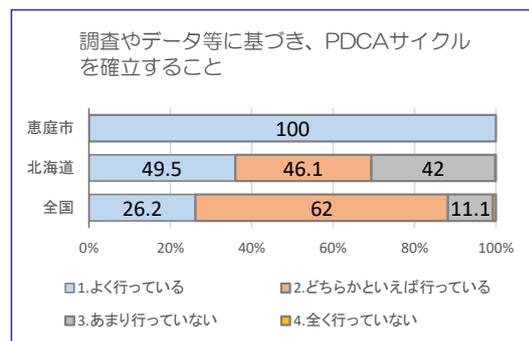
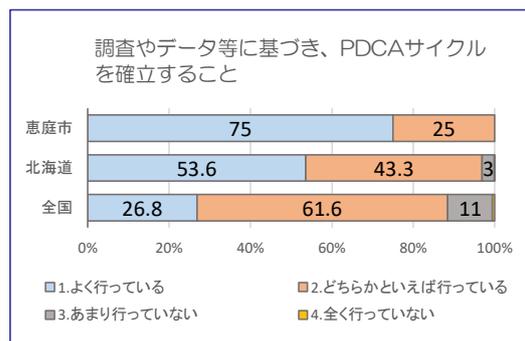
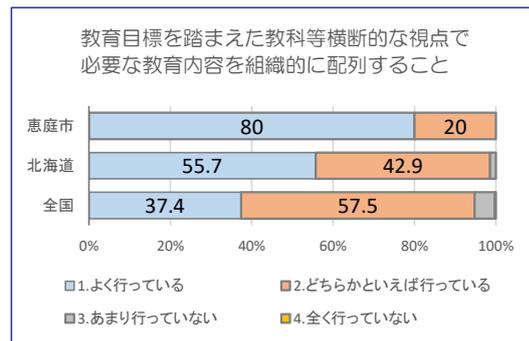
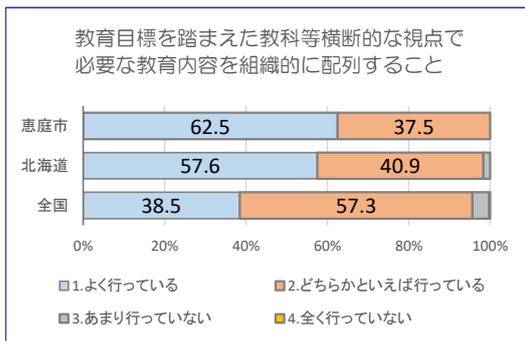
●教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で必要な教育目標を組織的に配列することを「よく行っている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。

●調査やデータ等に基づきPDCAサイクルを確立することを「よく行っている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。

●人的・物的資源等を外部資源も含めて効果的に組み合わせることを「よく行っている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。

小学校

中学校



体育授業・保健体育授業の取り組みについて

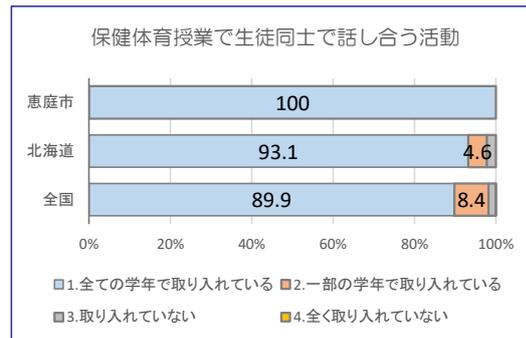
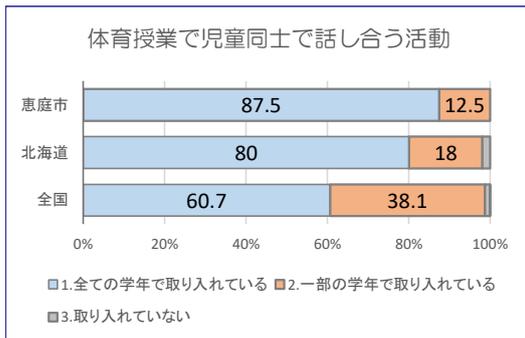
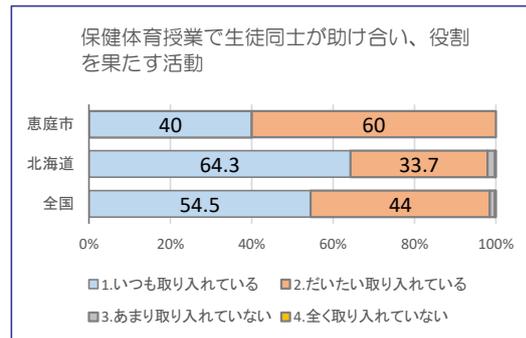
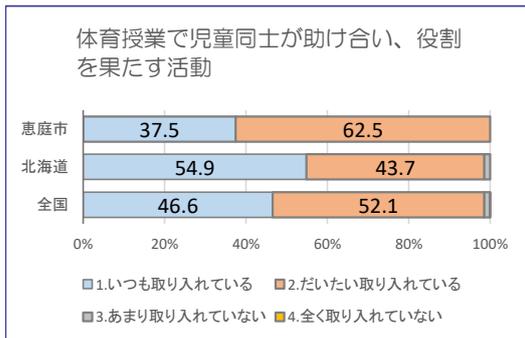
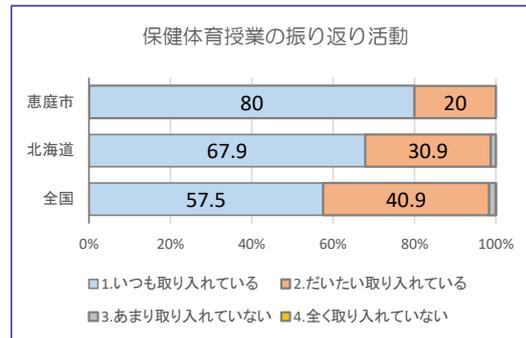
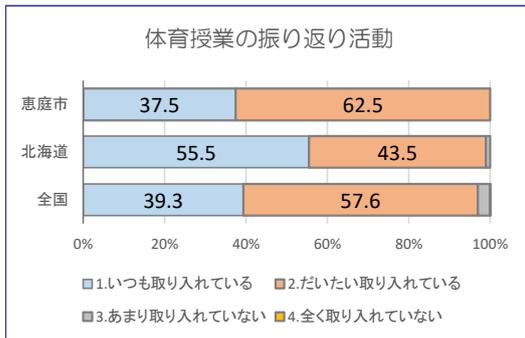
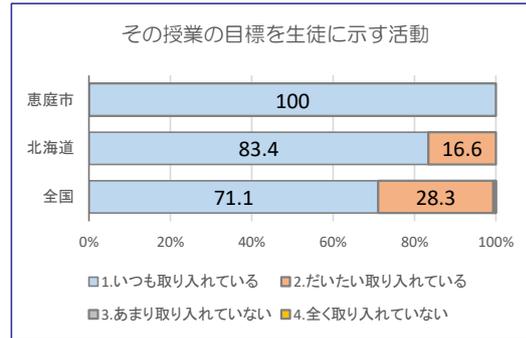
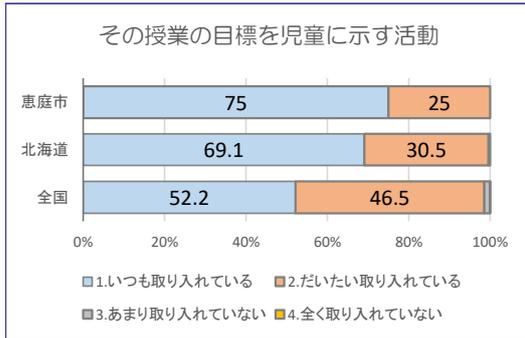
●授業の目標児童・生徒に示す活動を「いつも取り入れている」と回答した学校は、小・中学校ともに全国平均を上回っており、振り返り活動を「いつも取り入れている」と回答した学校は、小学校では全国平均と同程度、中学校では上回っている。

●生徒同士話し合う活動を授業で「全ての学年で取り入れている」と回答した割合について、全国平均と比較すると、小・中学校ともに全国平均を上回っており、ICT活用頻度については、小学校で週1時間程度、中学校では毎時間使用している学校が最も多くなっている。

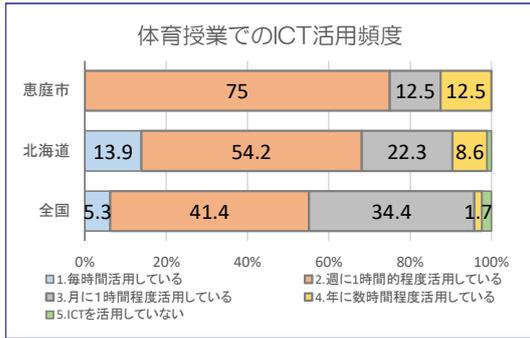
●「どんなとき授業が楽しいと感じていると思うか」については、小学校は「すっきりした気分になったとき」「いろんな種目を体験したとき」「できるようになったとき」、中学校は「できるようになったとき」「記録に挑戦したり、あがったりしたとき」「友達と交流したり、交流できたとき」と感じている。

小学校

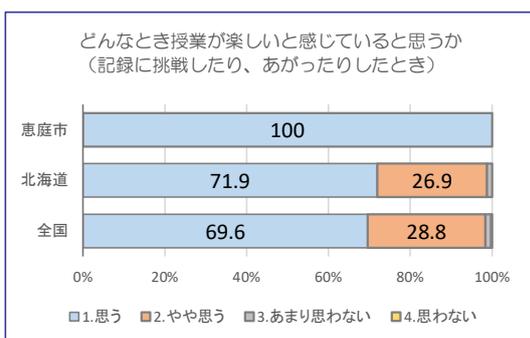
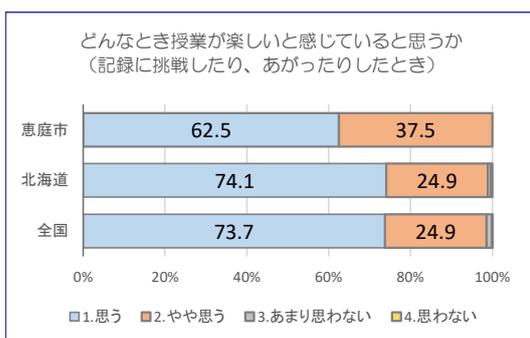
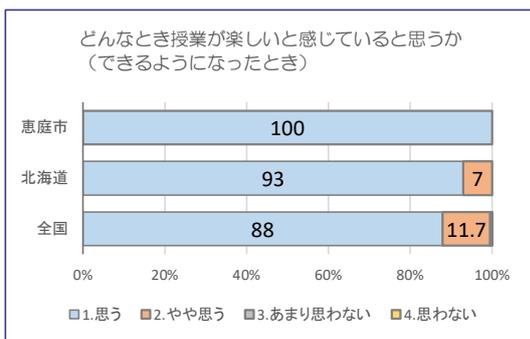
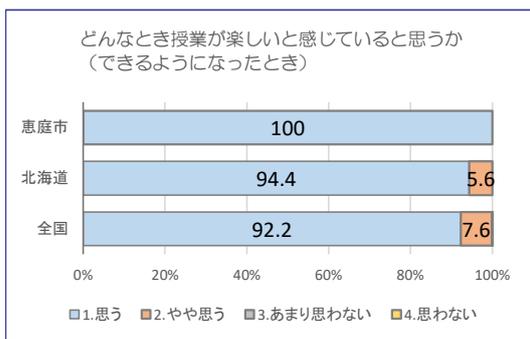
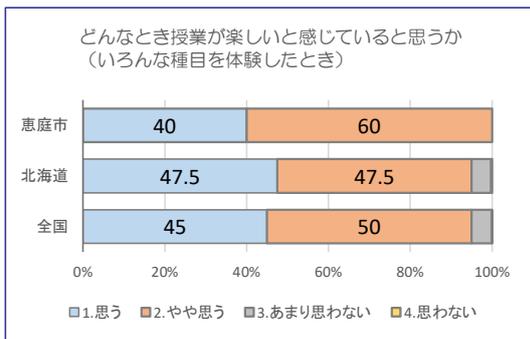
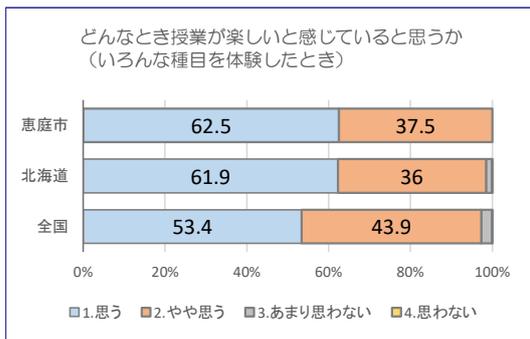
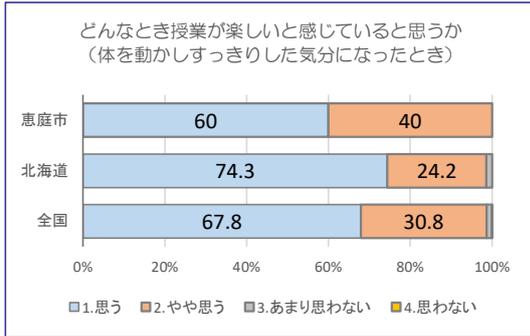
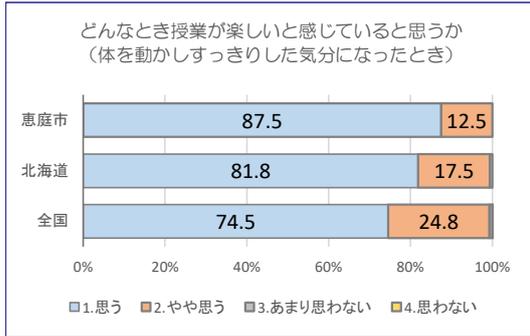
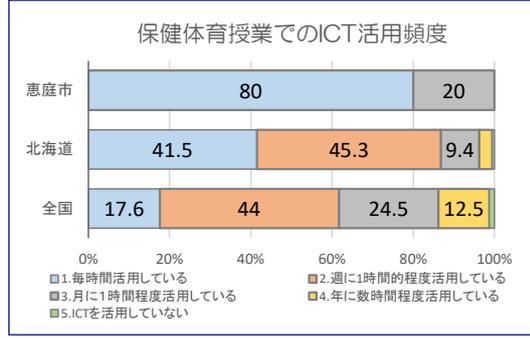
中学校



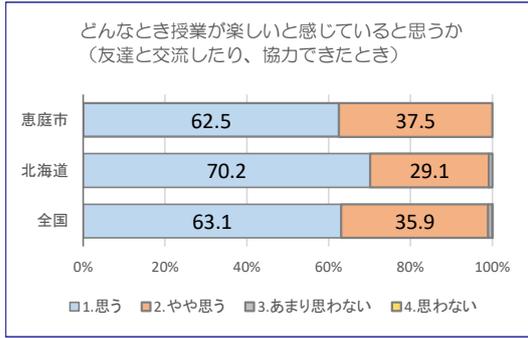
小学校



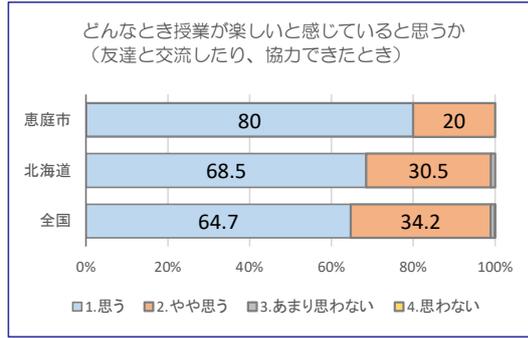
中学校



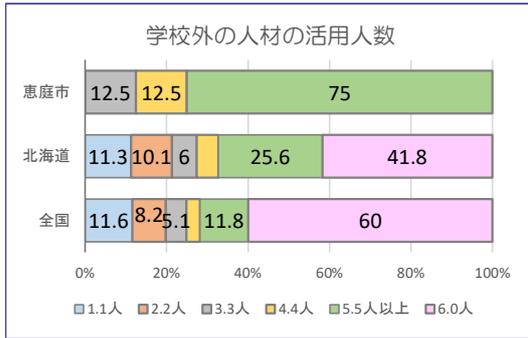
小学校



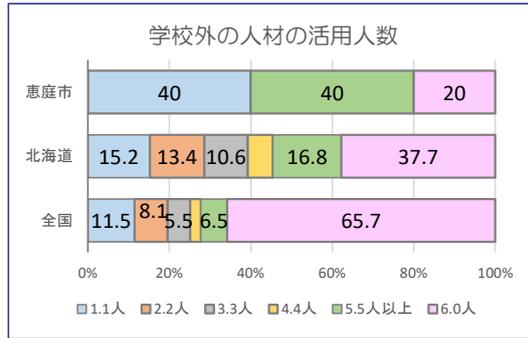
中学校



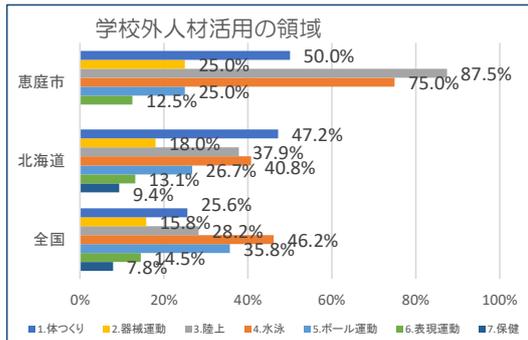
学校外の人材の活用人数



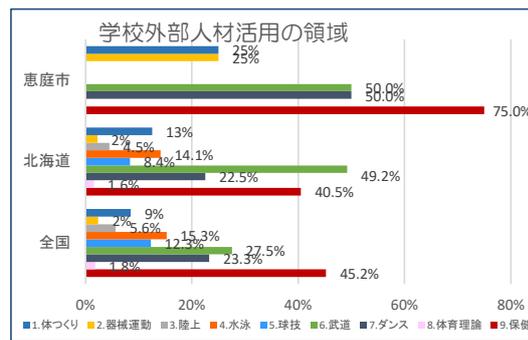
学校外の人材の活用人数



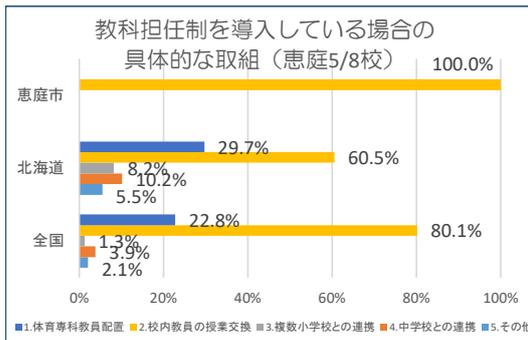
学校外人材活用の領域



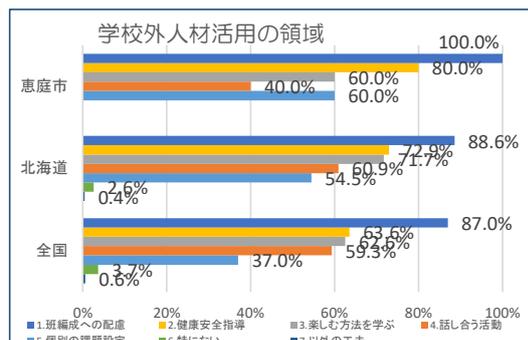
学校外部人材活用の領域



教科担任制を導入している場合の 具体的な取組 (恵庭5/8校)



学校外人材活用の領域





ENIWA EYE